

# 大村市のまちづくりに関する 市民アンケート調査結果

令和3年1月



## 目次

1. 調査概要 .....	1
2. 集計結果 .....	1
2.1 回答者の属性について .....	2
(1) 性別 .....	2
(2) 年齢 .....	2
(3) 職業 .....	3
(4) お住まいの地区 .....	4
(5) 普段の外出手段 .....	5
(6) 世帯構成 .....	6
(7) 18歳以下の子どもとの同居有無 .....	7
(8) 同居する子どもの年代 .....	7
2.2 まちづくりの現状や、今後の取り組みに対する考え方について .....	8
2.3 本市の現在のイメージや、将来的に目指すべきイメージについて .....	19
2.4 「お住いの地区」のまちづくりについて .....	21
(1) 伸ばすべき特徴や担うべき役割 .....	21
(2) 今後の地区のまちづくりに活用していきたいもの（記述式） .....	25
2.5 「コンパクトシティ・プラス・ネットワーク」のまちづくりについて .....	26
(1) 人口減少・少子高齢化により懸念される重要な問題 .....	26
(2) 『大村市立地適正化計画』の認知度 .....	27
(3) 「コンパクトシティ・プラス・ネットワーク」のまちづくりの必要性 .....	27
2.6 現在の住いや、将来の居留意向について .....	28
(1) 住い周辺にある施設 .....	28
(2) 住まい周辺に欠かせない施設 .....	31
(3) 今後の居留意向 .....	34
(4) 住まいを移したい理由 .....	35
(5) 住まいを移す場合、移住先に求めること .....	38
(6) 住まいを移す場合、不安に思うこと .....	39
2.7 自由意見 .....	40

## 1. 調査概要

大村市民を対象として、都市計画に関連する事項に対する市民の意識や、今後のまちづくりに向けた意見・意向等を把握し、都市計画マスタープランおよび立地適正化計画の改訂を検討する上での基礎資料とするためのアンケート調査を実施した。

図表 1 調査概要

項目	内容
対象地域	大村市全域
調査対象	18歳以上の市民 3,000人 (住民基本台帳から地域のバランスに応じて対象を無作為に抽出)
調査方法	郵送にてアンケート調査票を配布・回収
調査期間	令和2年10月15日(木)～令和2年11月6日(金)
回収数・回収率	1,268票、42.3%

### ■地区別の回収数・回収率

	人口 (R2.6.30)	配布数	割合 (対配布数)	割合 (対人口)	回収数	回収率
	①					
松原地区	1,834	201	6.7%	11.0%	75	37.3%
福重地区	3,494	199	6.6%	5.7%	86	43.2%
萱瀬地区	1,607	200	6.7%	12.4%	81	40.5%
竹松地区	18,745	578	19.3%	3.1%	244	42.2%
西大村地区	25,191	742	24.7%	2.9%	264	35.6%
大村地区	22,517	679	22.6%	3.0%	360	53.0%
鈴田地区	2,543	200	6.7%	7.9%	74	37.0%
三浦地区	2,479	201	6.7%	8.1%	79	39.3%
不明					5	
全体	78,410	3,000	100.0%	3.8%	1,268	42.3%

### ■参考■前回調査結果(H21.11)

	人口	配布数	割合 (対配布数)	割合 (対人口)	回収数	回収率
	①					
松原地区	2,340	85	2.8%	3.6%	33	38.8%
福重地区	3,767	137	4.6%	3.6%	55	40.1%
萱瀬地区	2,123	77	2.6%	3.6%	28	36.4%
竹松地区	19,287	638	21.3%	3.3%	236	37.0%
西大村地区	30,242	1,001	33.4%	3.3%	302	30.2%
大村地区	24,505	811	27.0%	3.3%	300	37.0%
鈴田地区	2,987	129	4.3%	4.3%	47	36.4%
三浦地区	2,789	121	4.0%	4.3%	49	40.5%
不明					34	
全体	88,040	3,000	100.0%	3.4%	1,084	36.1%

※前回人口は総人口

## 2. 集計結果

アンケート回答の集計結果を次頁以降に掲載する。

### <図表の注意点>

- ◇ 図表中の「n」は、各設問の有効回答数（回収数から無効回答数を除いた値）を示すものである。
- ◇ 集計では小数第1位を四捨五入し、整数で表示しているため、比率の合計が100%とならない場合がある。

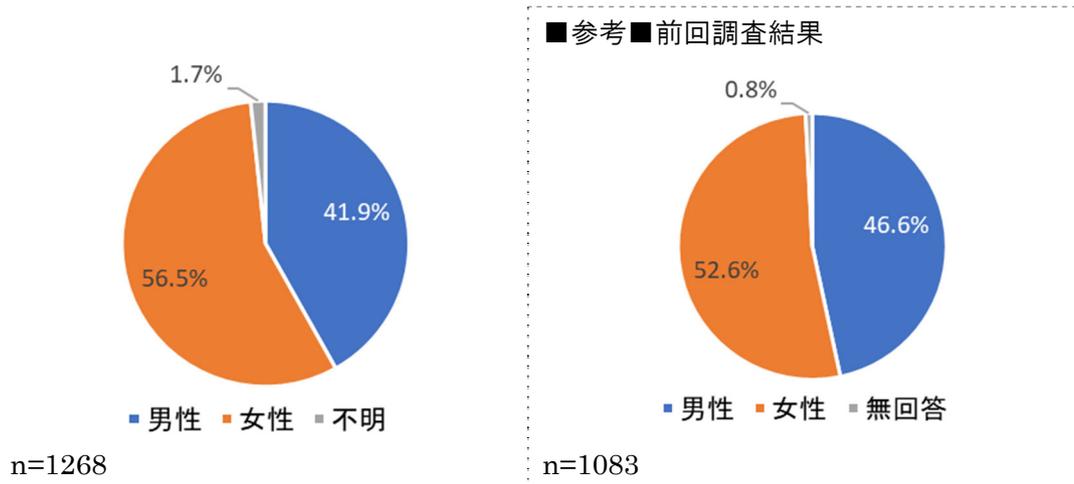
## 2.1 回答者の属性について

はじめに、あなた（封筒のあて名の方）ご自身のことについてお聞きします。  
それぞれについて、あてはまるものに「○」をつけるか、具体的にご記入ください。

### (1) 性別

- ・ 「男性」が41.9%（531票）、「女性」が56.5%（716票）を占める。
- ・ 前回調査結果と同様、女性の割合が男性よりも少し上回っている。

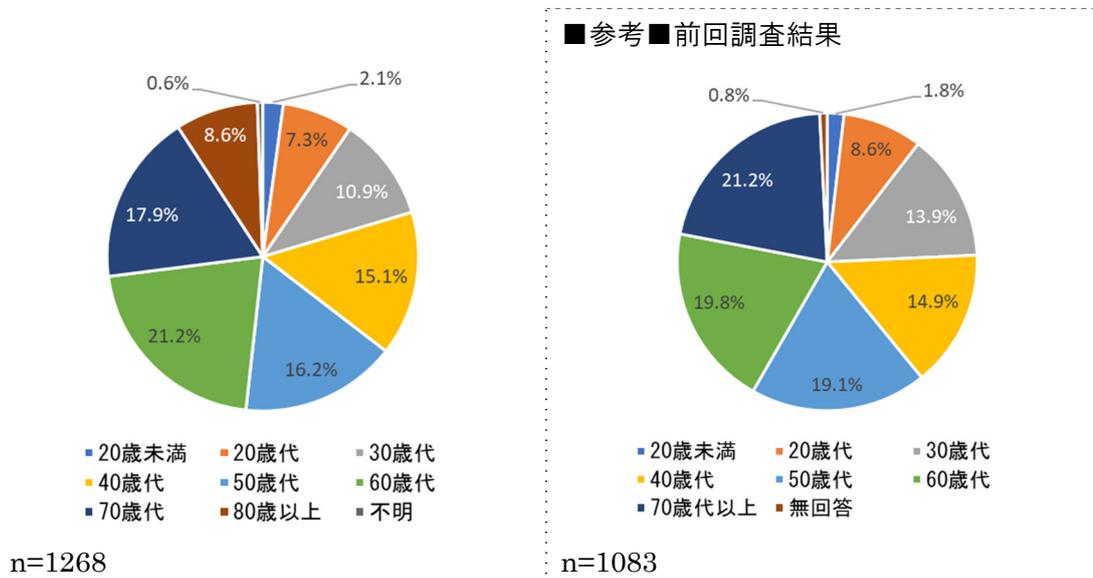
図表2 性別



### (2) 年齢

- ・ 「60歳代」が21.2%（269票）と最も多く、次いで「70歳代」が17.9%（227票）を占める。
- ・ 「60歳代以上」の割合は、前回調査結果の41.0%を上回り、47.7%（605票）と回答者の半数程度を占める。

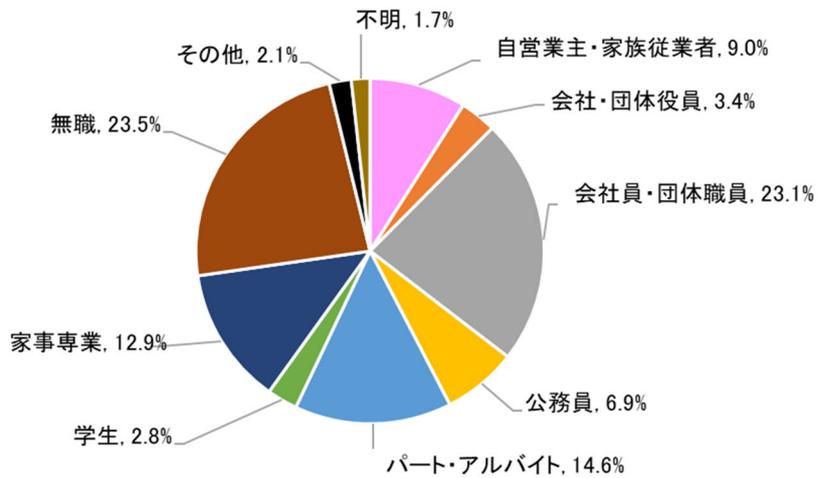
図表3 年齢



(3) 職業

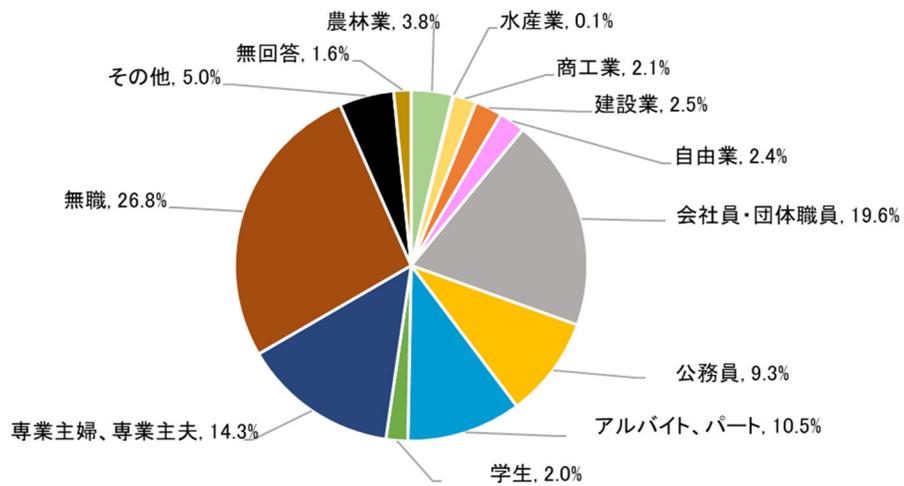
- ・ 「無職」が 23.5% (298 票) と最も多く、次いで「会社員・団体職員」が 23.1% (293 票) を占める。なお、回答者の 47.7% (605 票) が 60 歳代以上であることから、「無職」の主たる選択者は年金生活者であると想定される。

図表 4 職業



n=1268

■参考■ 前回調査結果

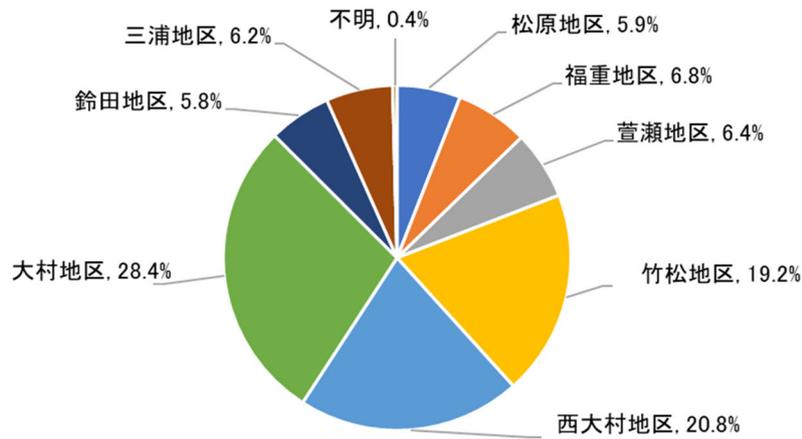


n=1084

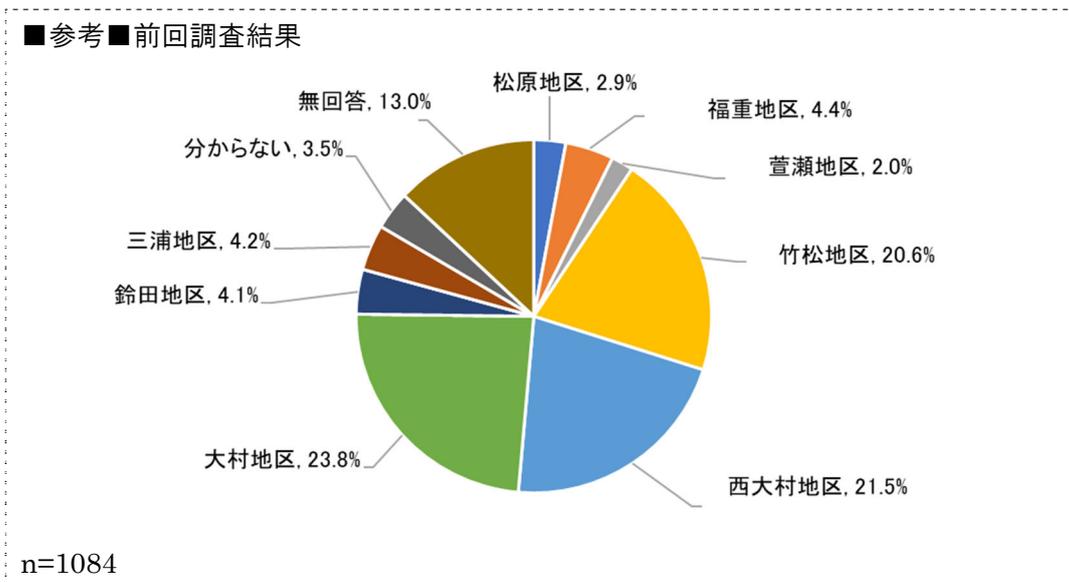
(4) お住まいの地区

- ・ 前回調査結果と同様に、回答者数が多い上位3地区は、「大村地区」、「西大村地区」、「竹松地区」であり、今回調査では「大村地区」が28.4%（360票）と最も多く、次いで「西大村地区」が20.8%（264票）、「竹松地区」が19.2%（244票）を占める。

図表5 お住まいの地区



n=1268

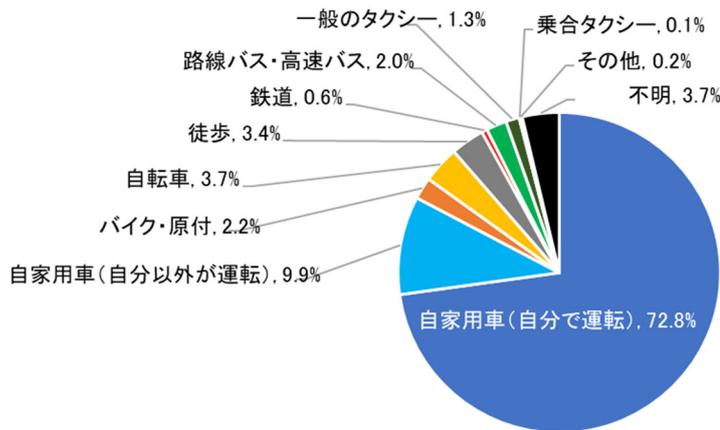


(5) 普段の外出手段

普段、外出する際の移動手段として、最も多く利用するもの一つに「〇」

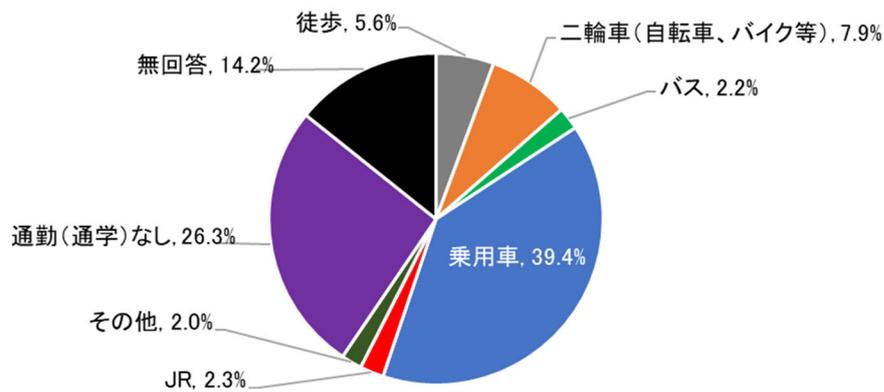
- ・ 「自家用車（自分で運転）」が 72.8%（924 票）と最も多く、次いで「自家用車（自分以外が運転）」が 9.9%（126 票）を占めており、前回調査結果と同様に、自家用車が移動手段の中心になっている。
- ・ 公共交通については、「路線バス・高速バス」が 2.0%（26 票）と最も多く、次いで「鉄道」が 0.6%（7 票）を占める。

図表 6 普段の外出手段



n=1268

■参考 ■前回調査結果

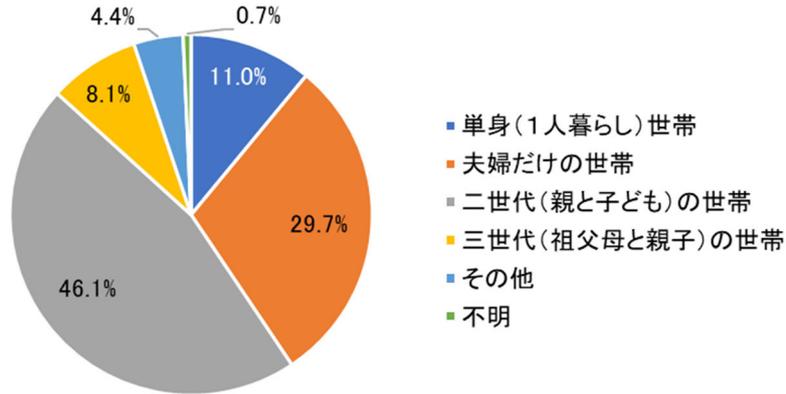


n=1078

(6) 世帯構成

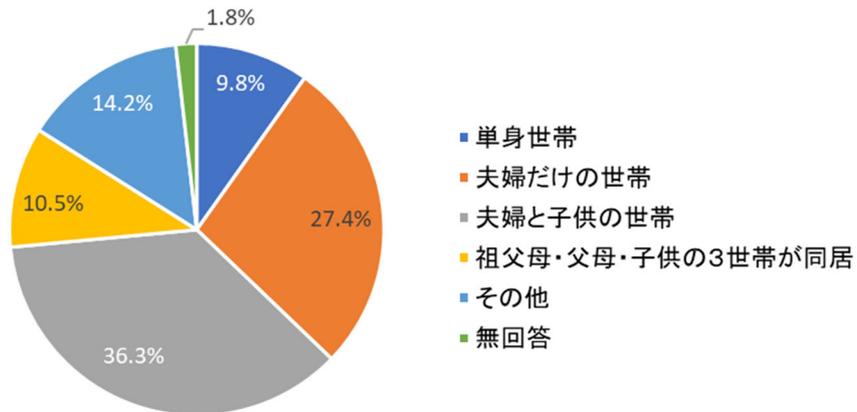
- ・ 前回調査結果と同様に、「二世代の世帯」、「夫婦だけの世帯」が回答の上位2項目となっており、今回調査では、「二世代（親と子ども）の世帯」が46.1%（585票）と最も多く、次いで「夫婦だけの世帯」が29.7%（376票）を占める。

図表7 世帯構成



n=1268

■参考■前回調査結果



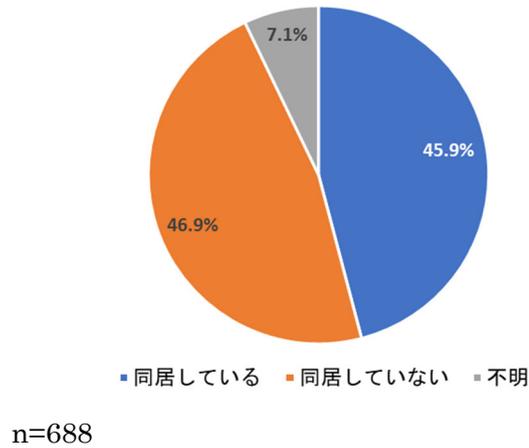
n=1084

(7) 18歳以下の子どもとの同居有無

18歳以下の子どもと同居していますか。(どちらかに「○」)

- ・ 回答者の45.9% (316票) が18歳以下の子どもと同居している。

図表8 18歳以下の子どもとの同居有無

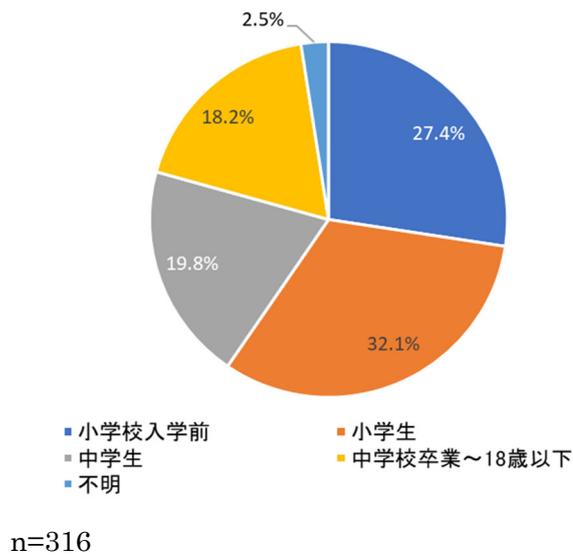


(8) 同居する子どもの年代

お子さんの年代を教えてください。(該当するもの全てに「○」)

- ・ 同居している子どもの世代としては、「小学生」が32.1% (143票) と最も多く、次いで「小学校入学前」が27.4% (122票) を占める。

図表9 同居する子どもの年代



## 2.2 まちづくりの現状や、今後の取り組みに対する考え方について

現在、あなたがお住いの地区（調査票の1ページでご回答いただいた地区）について、現在の評価（満足度）と、今後への期待（重要度）のそれぞれについて、あなたの今のお気持ちに最も近い番号をそれぞれ1つ選んで「○」をつけてください。

- ・ 満足度については、評価されている項目として、前回調査と同様に、「日当たりや見晴らしのよさ」が上位3項目の中に入っており、今回調査では新たに「工場などの混在による悪臭や騒音のない快適性」、「自然・緑・水辺の豊かさ、美しさ」が1・3位に入っている。
- ・ 一方、現在評価されていない項目として、前回調査と同様に、「遊び・レジャー施設の充実度」、「バス・乗合タクシーの利便性」が下位3項目の中に入っており、今回調査では新たに「鉄道の利便性」が3位に入っている。
- ・ 重要度については、今後の期待が高い項目として、「河川の氾濫や洪水など、水害に対する安全性」、「総合的な暮らしやすさ」、「日常の買い物の利便性」が上位3項目に入っており、3項目とも前回調査とは結果が異なる。
- ・ 一方、今後の期待が低い項目として、前回調査と同様に、「遊び・レジャー施設の充実度」、「地域資源を活かした交流・観光環境の充実度」が下位3項目の中に入っており、今回調査では新たに「休日に家族で過ごせる大きな公園の充実度」が2位に入っている。

図表 10 満足度・重要度の平均値に基づく上位・下位3項目※(全体)

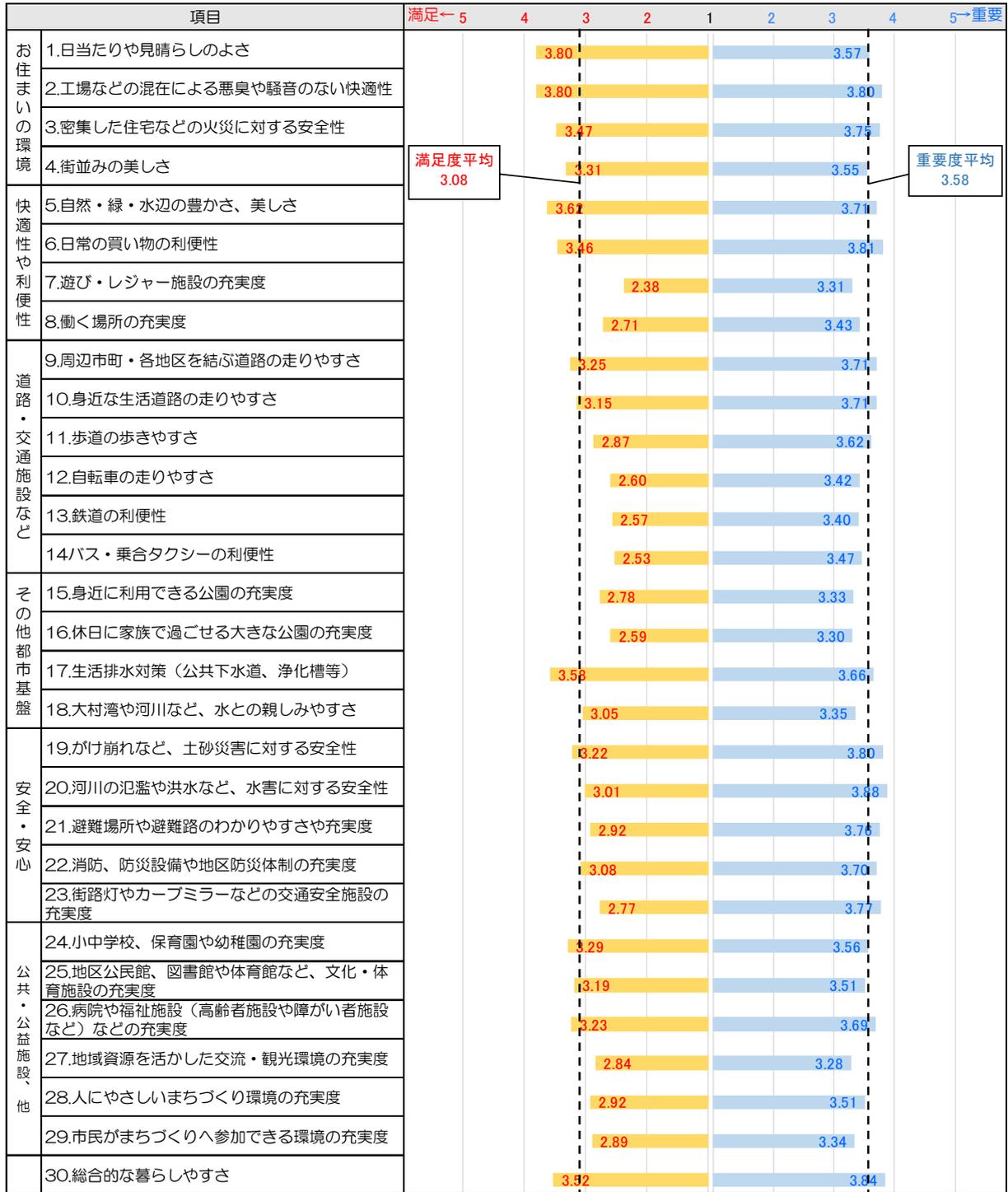
	1位	2位	3位
満足度が高い項目	1.日当たりや見晴らしのよさ (同率1位)	2.工場などの混在による悪臭や騒音のない快適性 (同率1位)	5.自然・緑・水辺の豊かさ、美しさ
満足度が低い項目	7.遊び・レジャー施設の充実度	14.バス・乗合タクシーの利便性	13.鉄道の利便性
重要度が高い項目	20.河川の氾濫や洪水など、水害に対する安全性	30.総合的な暮らしやすさ	6.日常の買い物の利便性
重要度が低い項目	27.地域資源を活かした交流・観光環境の充実度	16.休日に家族で過ごせる大きな公園の充実度	7.遊び・レジャー施設の充実度

※1～30の各項目の平均点(平均点＝評価総点÷回答者数)に基づき上位・下位3項目を抽出

### ■参考■前回調査結果

	1位	2位	3位
満足度が高い項目	17.生活排水対策（公共下水道、浄化槽等）	1.日当たりや見晴らしのよさ	19.がけ崩れなど、土砂災害に対する安全性
満足度が低い項目	7.遊び・レジャー施設の充実度	8.働く場所の充実度	14.バス・乗合タクシーの利便性
重要度が高い項目	2.工場などの混在による悪臭や騒音のない快適性	3.密集した住宅などの火災に対する安全性	1.日当たりや見晴らしのよさ
重要度が低い項目	7.遊び・レジャー施設の充実度	27.地域資源を活かした交流・観光環境の充実度	29.市民がまちづくりへ参加できる環境の充実度

図表 11 満足度・重要度の平均値(全体)



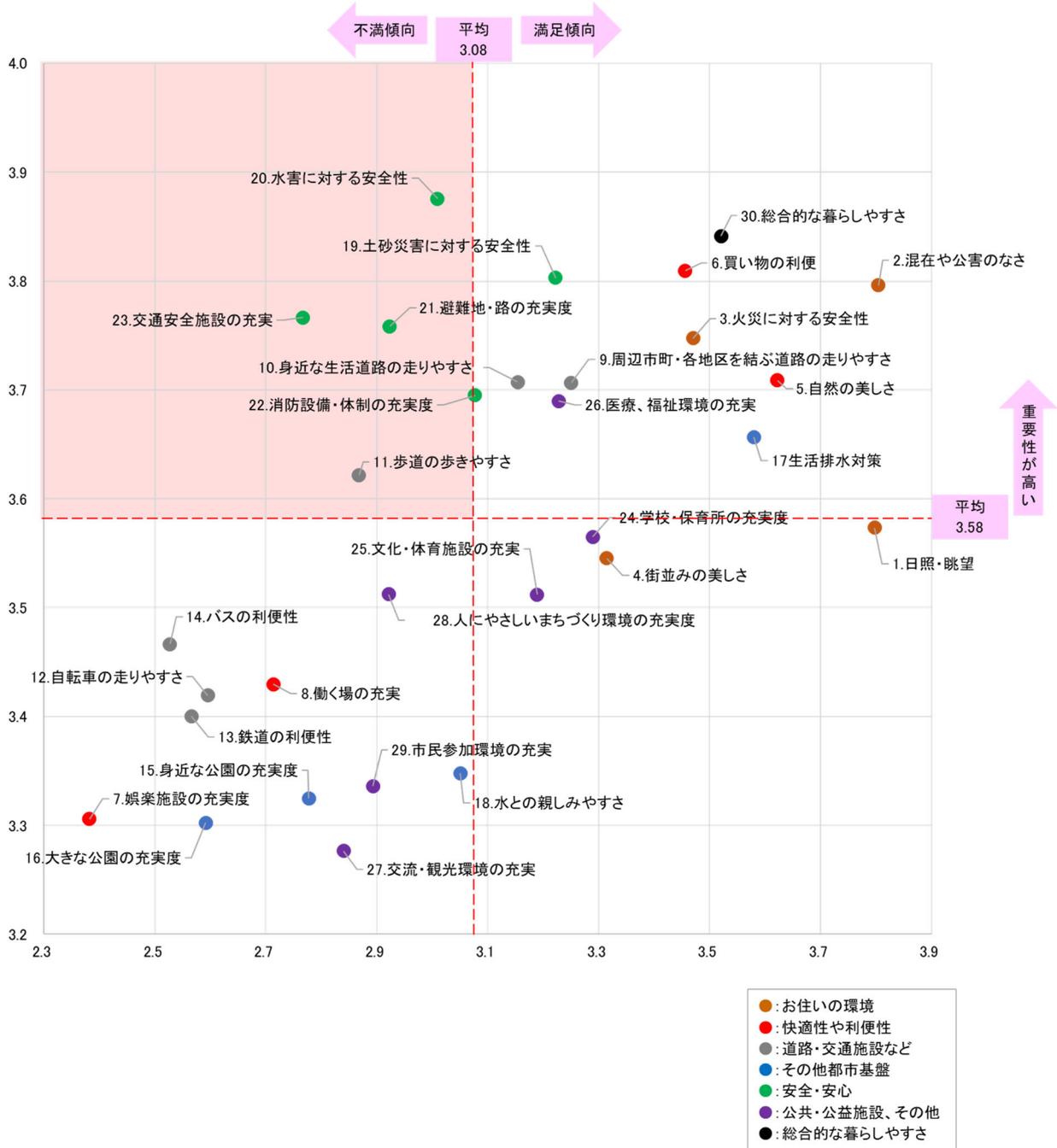
※（満足度… 満足=5、 やや満足=4、 普通=3、 やや不満=2、 不満=1）

----- 平均値

※（重要度… 高い=5、 やや高い=4、 普通=3、 やや低い=2、 低い=1）

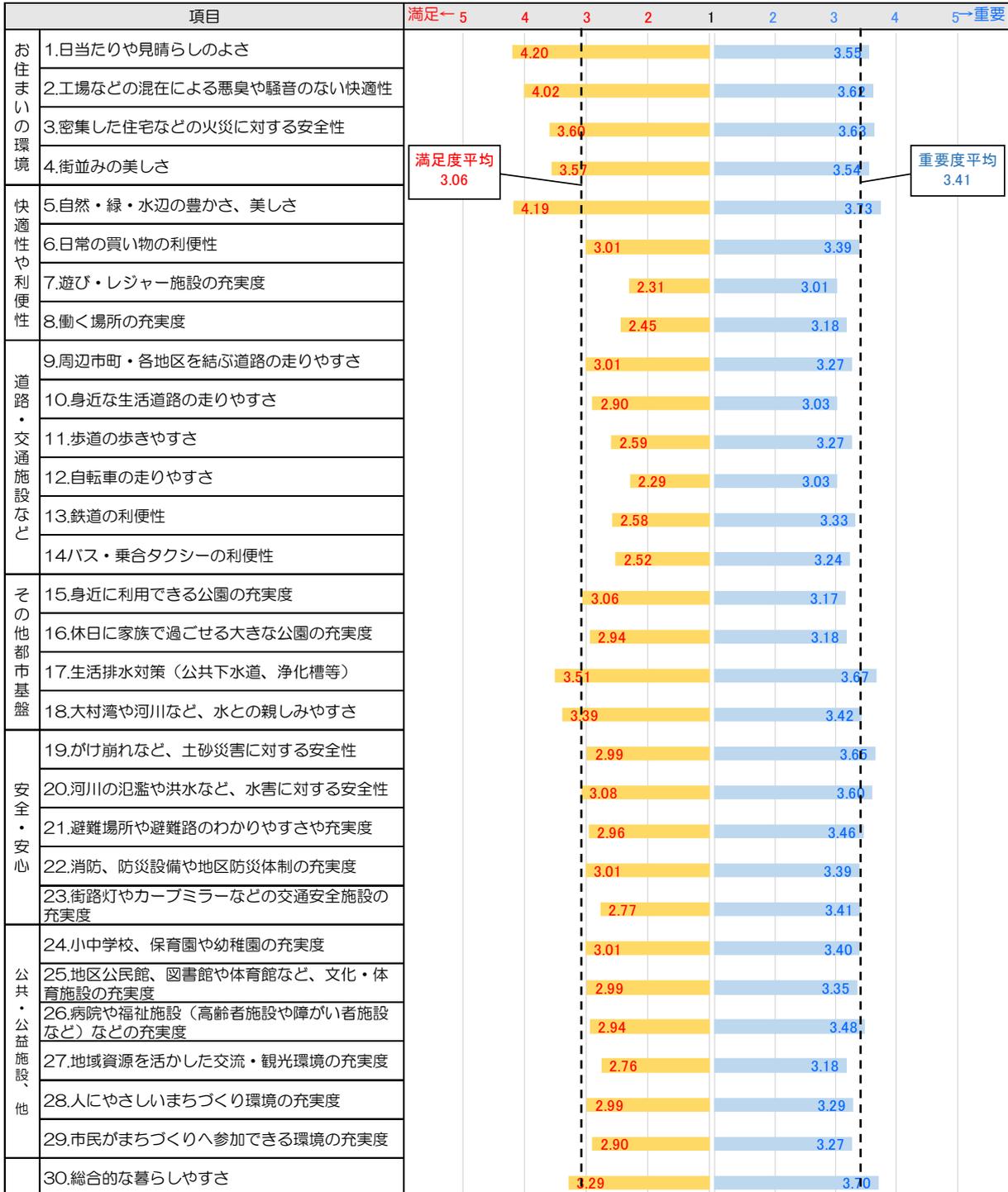
$$\text{【市平均値】} = \text{【各項目の評価総点の和】} \div \text{【各項目の回答者総数の和】}$$

図表 12 満足度・重要度の分布



図表 13 満足度・重要度の平均値(松原地区)

	1位	2位	3位
満足度が 高い項目	1.日当たりや見晴らしのよさ	5.自然・緑・水辺の豊かさ、美しさ	2.工場などの混在による悪臭や騒音のない快適性
満足度が 低い項目	12.自転車の走りやすさ	7.遊び・レジャー施設の充実度	8.働く場所の充実度
重要度が 高い項目	5.自然・緑・水辺の豊かさ、美しさ	30.総合的な暮らしやすさ	17.生活排水対策（公共下水道、浄化槽等）
重要度が 低い項目	7.遊び・レジャー施設の充実度	10.身近な生活道路の走りやすさ (同率2位)	12.自転車の走りやすさ (同率2位)

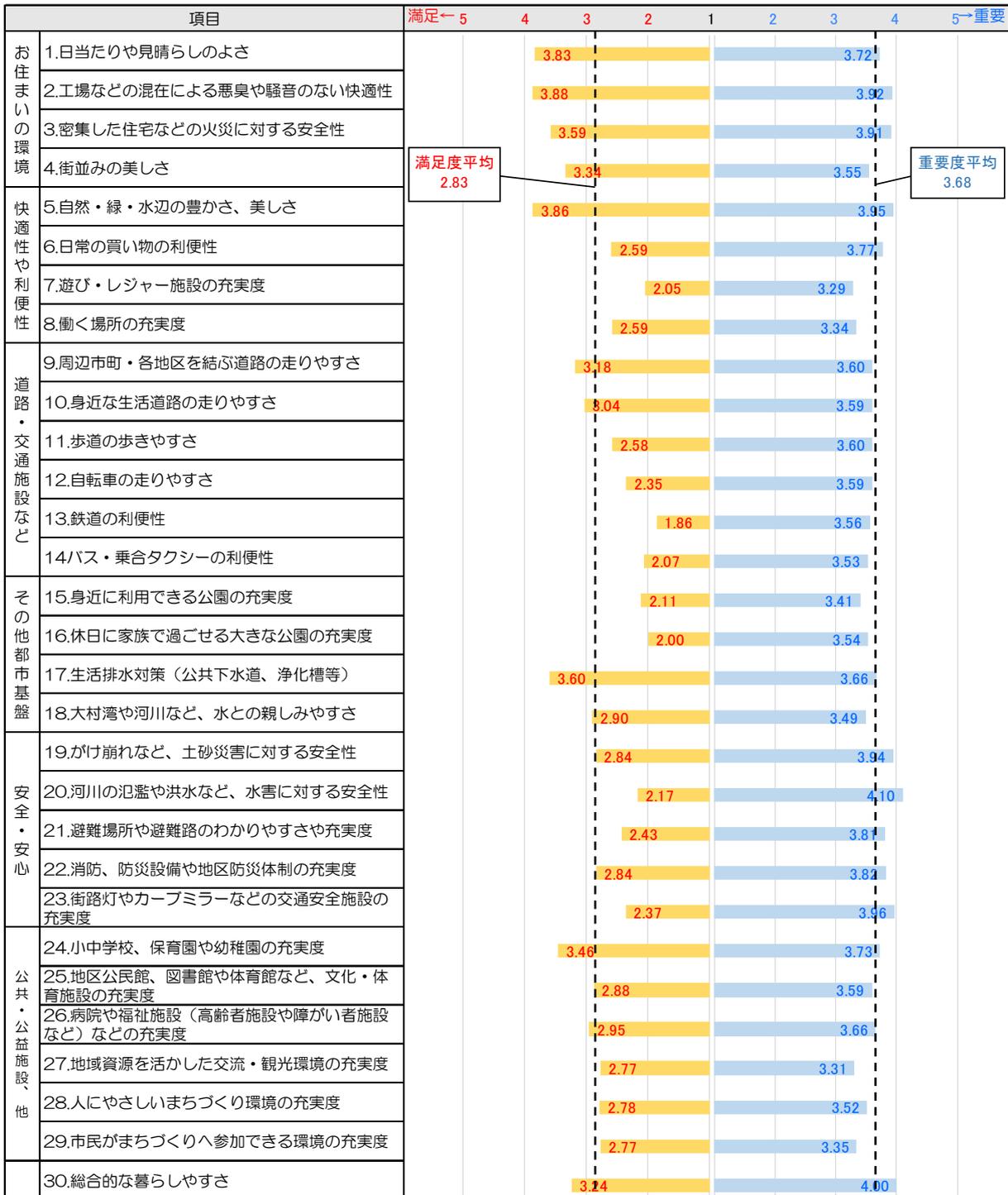


※（満足度… 満足=5、 やや満足=4、 普通=3、 やや不満=2、 不満=1）

※（重要度… 高い=5、 やや高い=4、 普通=3、 やや低い=2、 低い=1）

図表 14 満足度・重要度の平均値(福重地区)

	1位	2位	3位
満足度が 高い項目	5.自然・緑・水辺の豊かさ、美しさ	1.日当たりや見晴らしのよさ (同率2位)	2.工場などの混在による悪臭や騒音のない快適性 (同率2位)
満足度が 低い項目	13.鉄道の利便性	16.休日に家族で過ごせる大きな公園の充実度	7.遊び・レジャー施設の充実度
重要度が 高い項目	20.河川の氾濫や洪水など、水害に対する安全性	30.総合的な暮らしやすさ	23.街路灯やカーブミラーなどの交通安全施設の充実度
重要度が 低い項目	7.遊び・レジャー施設の充実度	27.地域資源を活かした交流・観光環境の充実度	8.働く場所の充実度



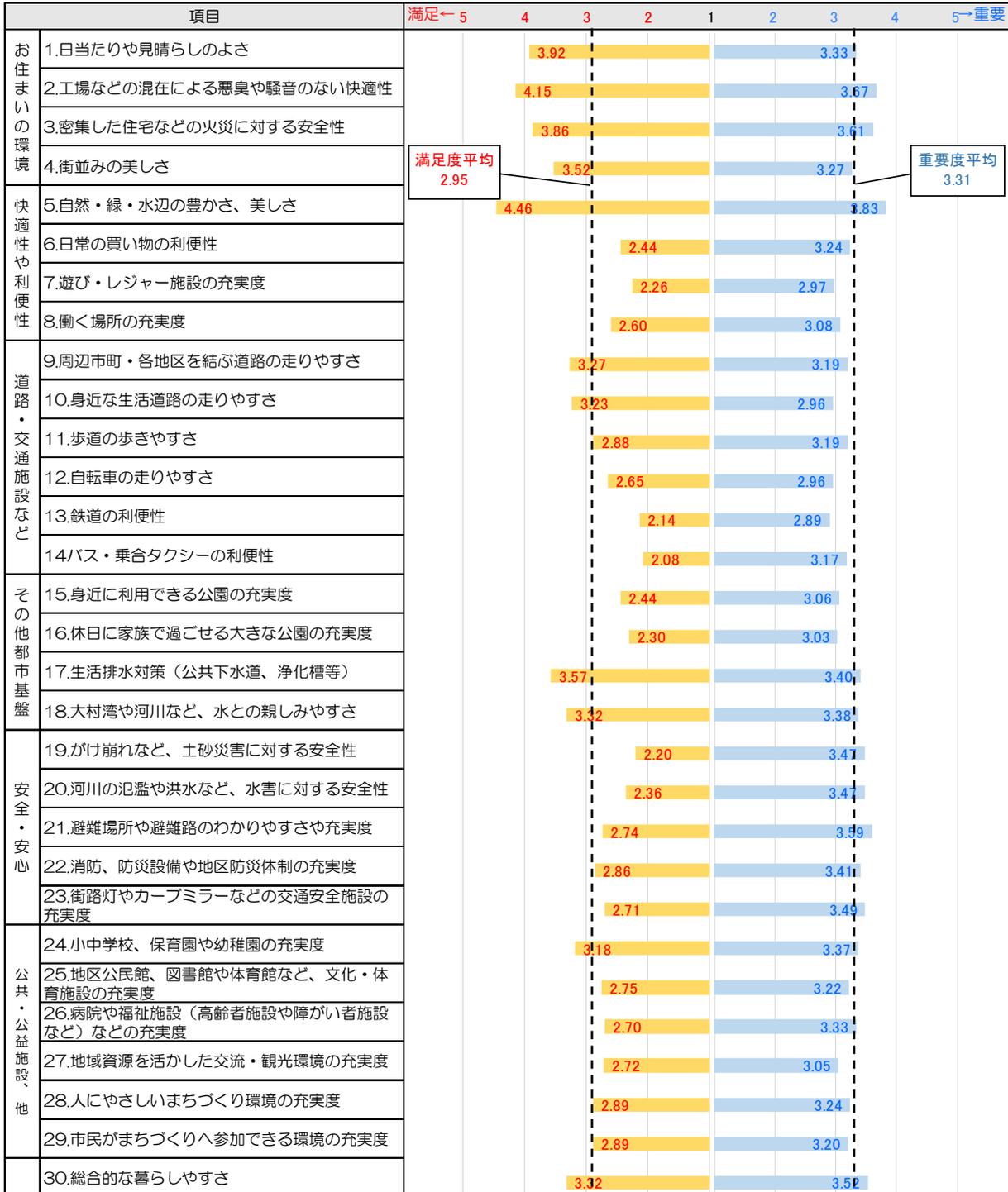
※(満足度… 満足=5、 やや満足=4、 普通=3、 やや不満=2、 不満=1)

----- 平均値

※(重要度… 高い=5、 やや高い=4、 普通=3、 やや低い=2、 低い=1)

図表 15 満足度・重要度の平均値(菅瀬地区)

	1位	2位	3位
満足度が 高い項目	5.自然・緑・水辺の豊かさ、美しさ	2.工場などの混在による悪臭や騒音のない快適性	1.日当たりや見晴らしのよさ
満足度が 低い項目	14.バス・乗合タクシーの利便性	13.鉄道の利便性	19.がけ崩れなど、土砂災害に対する安全性
重要度が 高い項目	5.自然・緑・水辺の豊かさ、美しさ	2.工場などの混在による悪臭や騒音のない快適性	3.密集した住宅などの火災に対する安全性
重要度が 低い項目	13.鉄道の利便性	10.身近な生活道路の走りやすさ(同率2位)	12.自転車の走りやすさ(同率2位)

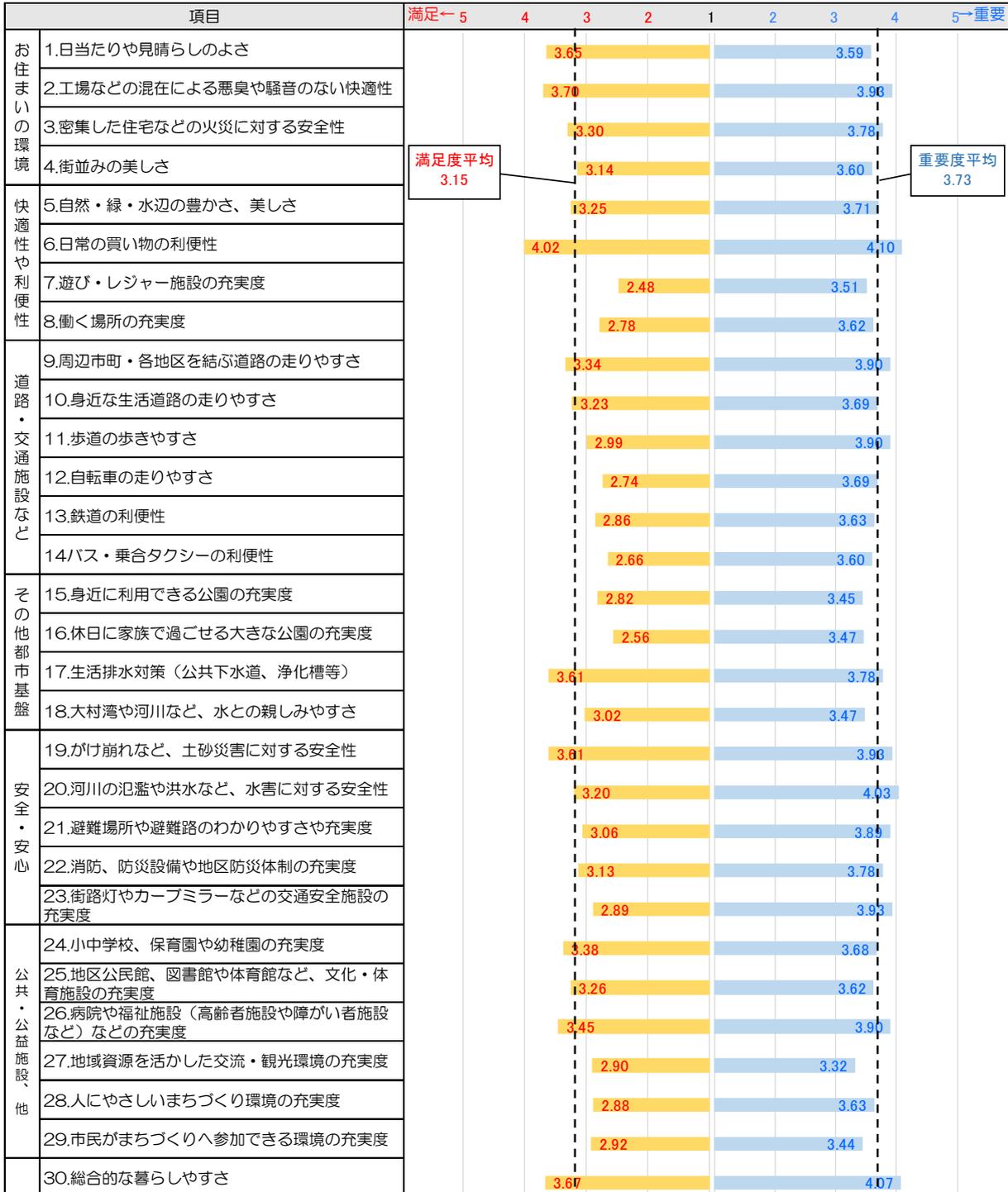


※(満足度… 満足=5、 やや満足=4、 普通=3、 やや不満=2、 不満=1) ----- 平均値

※(重要度… 高い=5、 やや高い=4、 普通=3、 やや低い=2、 低い=1)

図表 16 満足度・重要度の平均値(竹松地区)

	1位	2位	3位
満足度が 高い項目	6.日常の買い物の利便性	2.工場などの混在による悪臭や騒音のない快適性	30.総合的な暮らしやすさ
満足度が 低い項目	7.遊び・レジャー施設の充実度	16.休日に家族で過ごせる大きな公園の充実度	14.バス・乗合タクシーの利便性
重要度が 高い項目	6.日常の買い物の利便性	30.総合的な暮らしやすさ	20.河川の氾濫や洪水など、水害に対する安全性
重要度が 低い項目	27.地域資源を活かした交流・観光環境の充実度	29.市民がまちづくりへ参加できる環境の充実度	15.身近に利用できる公園の充実度



※（満足度… 満足=5、 やや満足=4、 普通=3、 やや不満=2、 不満=1）

----- 平均値

※（重要度… 高い=5、 やや高い=4、 普通=3、 やや低い=2、 低い=1）

図表 17 満足度・重要度の平均値(西大村地区)

	1位	2位	3位
満足度が 高い項目	6.日常の買い物の利便性	2.工場などの混在による悪臭や騒音のない快適性	19.がけ崩れなど、土砂災害に対する安全性
満足度が 低い項目	7.遊び・レジャー施設の充実度	12.自転車の走りやすさ	14.バス・乗合タクシーの利便性
重要度が 高い項目	6.日常の買い物の利便性	20.河川の氾濫や洪水など、水害に対する安全性	21.避難場所や避難路のわかりやすさや充実度
重要度が 低い項目	7.遊び・レジャー施設の充実度	29.市民がまちづくりへ参加できる環境の充実度	16.休日に家族で過ごせる大きな公園の充実度



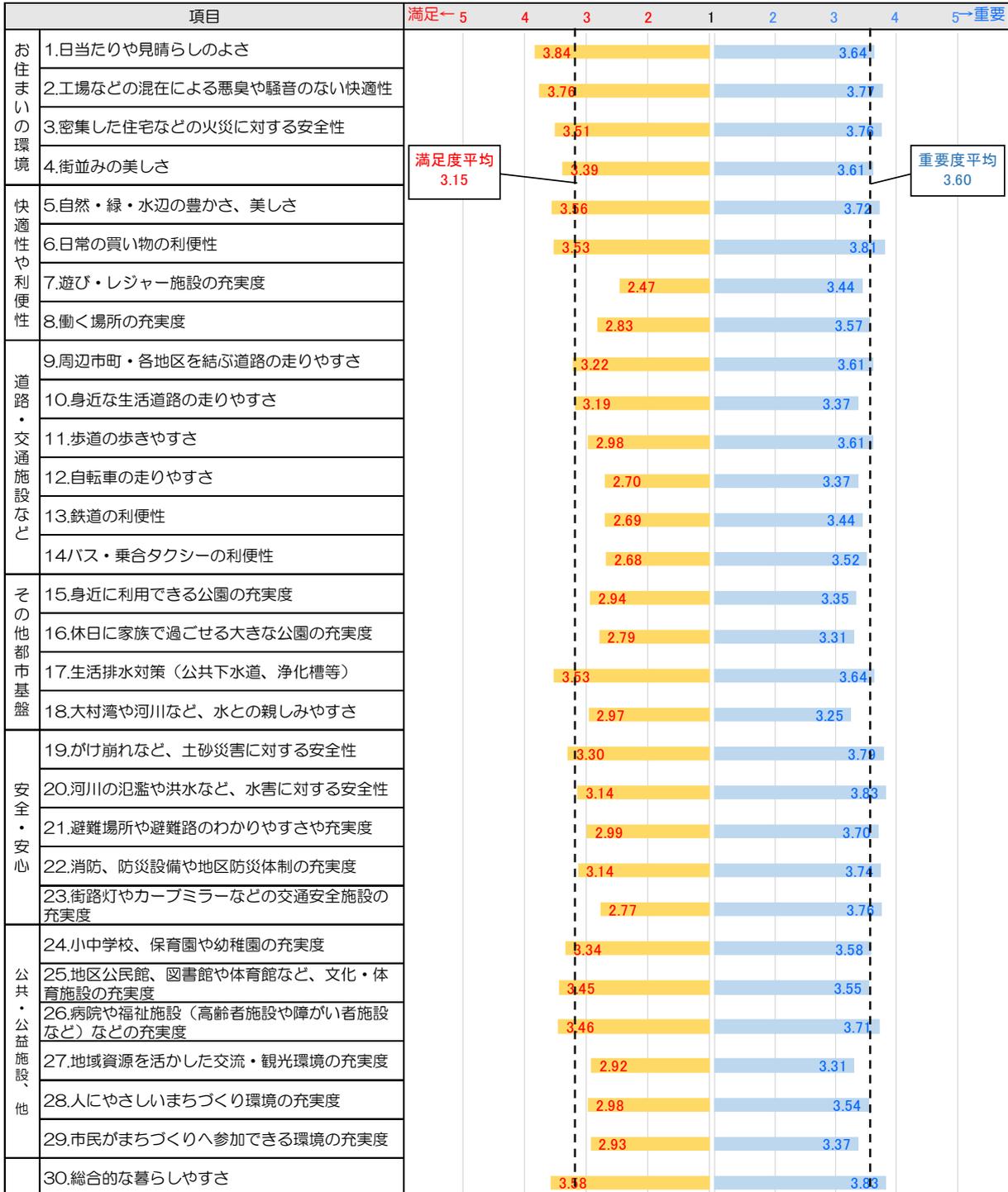
※（満足度… 満足=5、 やや満足=4、 普通=3、 やや不満=2、 不満=1）

----- 平均値

※（重要度… 高い=5、 やや高い=4、 普通=3、 やや低い=2、 低い=1）

図表 18 満足度・重要度の平均値(大村地区)

	1位	2位	3位
満足度が 高い項目	1.日当たりや見晴らしのよさ	2.工場などの混在による悪臭や騒音のない快適性	30.総合的な暮らしやすさ
満足度が 低い項目	7.遊び・レジャー施設の充実度	14.バス・乗合タクシーの利便性	13.鉄道の利便性
重要度が 高い項目	20.河川の氾濫や洪水など、水害に対する安全性 (同率1位)	30.総合的な暮らしやすさ (同率1位)	6.日常の買い物の利便性
重要度が 低い項目	18.大村湾や河川など、水との親しみやすさ	16.休日に家族で過ごせる大きな公園の充実度	27.地域資源を活かした交流・観光環境の充実度



※（満足度… 満足=5、 やや満足=4、 普通=3、 やや不満=2、 不満=1） ----- 平均値

※（重要度… 高い=5、 やや高い=4、 普通=3、 やや低い=2、 低い=1）

図表 19 満足度・重要度の平均値(鈴田地区)

	1位	2位	3位
満足度が 高い項目	5.自然・緑・水辺の豊かさ、美しさ	2.工場などの混在による悪臭や騒音のない快適性	1.日当たりや見晴らしのよさ
満足度が 低い項目	7.遊び・レジャー施設の充実度	20.河川の氾濫や洪水など、水害に対する安全性	12.自転車の走りやすさ
重要度が 高い項目	20.河川の氾濫や洪水など、水害に対する安全性	19.がけ崩れなど、土砂災害に対する安全性	2.工場などの混在による悪臭や騒音のない快適性
重要度が 低い項目	7.遊び・レジャー施設の充実度	16.休日に家族で過ごせる大きな公園の充実度	27.地域資源を活かした交流・観光環境の充実度



※（満足度… 満足=5、 やや満足=4、 普通=3、 やや不満=2、 不満=1） ----- 平均値

※（重要度… 高い=5、 やや高い=4、 普通=3、 やや低い=2、 低い=1）

図表 20 満足度・重要度の平均値(三浦地区)

	1位	2位	3位
満足度が 高い項目	5.自然・緑・水辺の豊かさ、美しさ	1.日当たりや見晴らしのよさ	2.工場などの混在による悪臭や騒音のない快適性
満足度が 低い項目	13.鉄道の利便性	16.休日に家族で過ごせる大きな公園の充実度	14.バス・乗合タクシーの利便性
重要度が 高い項目	2.工場などの混在による悪臭や騒音のない快適性	5.自然・緑・水辺の豊かさ、美しさ	23.街路灯やカーブミラーなどの交通安全施設の充実度
重要度が 低い項目	13.鉄道の利便性	8.働く場所の充実度	16.休日に家族で過ごせる大きな公園の充実度



※（満足度… 満足=5、 やや満足=4、 普通=3、 やや不満=2、 不満=1）

----- 平均値

※（重要度… 高い=5、 やや高い=4、 普通=3、 やや低い=2、 低い=1）

## 2.3 本市の現在のイメージや、将来的に目指すべきイメージについて

あなたは「現在の大村市」に対してどのようなイメージを持っていますか。

「良いイメージ」「悪いイメージ」それぞれについて、最も近いものを3つまで選んで「○」をつけてください。（大村市全体としてのイメージをお答えください。）

あなたは「将来の大村市」がどのようなイメージのまちになって欲しいと思いますか。最も近いものを3つまで選んで「○」をつけてください。

- ・ 良いイメージは、前回調査結果と同様に、「海、山、川などの自然が美しく豊かなまち」「住宅事情がよく、住環境の優れたまち」「交通の便のよいまち」が上位3項目を占める。
- ・ 悪いイメージは、前回調査結果と同様に、「観光・レクリエーションの場が少ないまち」「働く場が少ないまち」「特に特徴がなく、個性に乏しいまち」が上位3項目を占め、順位に変化はあるものの項目自体には変化はない。
- ・ 将来のイメージは、前回調査結果と同様に、「働く場が充実したまち」「高齢者などが住みやすい福祉、医療のまち」が上位にあがっており、さらに、今回調査で新たに「交通の便のよいまち」が上位項目としてあがっている。

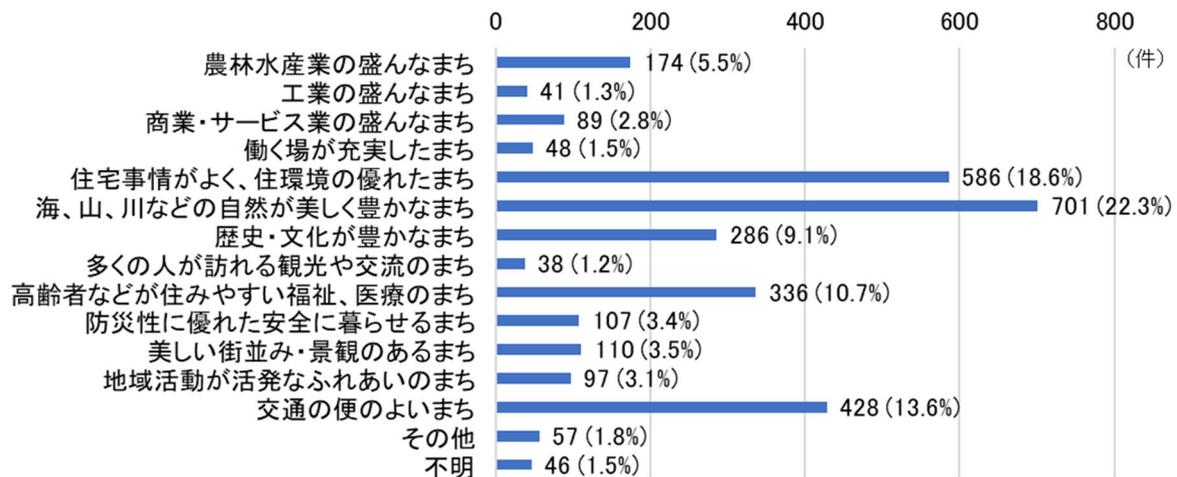
図表 21 まちのイメージ上位3項目

	1位	2位	3位
現在の良いイメージ	6.海、山、川などの自然が美しく豊かなまち	5.住宅事情がよく、住環境の優れたまち	13.交通の便のよいまち
現在の悪いイメージ	8.観光・レクリエーションの場が少ないまち	4.働く場が少ないまち	1.特に特徴がなく、個性に乏しいまち
将来のイメージ	4.働く場が充実したまち	9.高齢者などが住みやすい福祉、医療のまち	13.交通の便のよいまち

### ■参考■前回調査結果

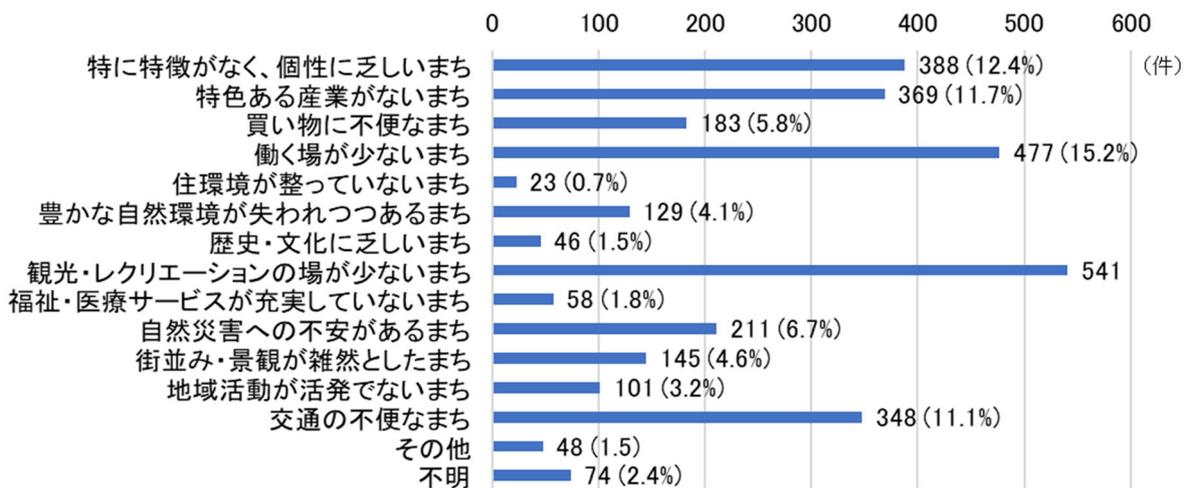
	1位	2位	3位
現在の良いイメージ	6.海、山、川などの自然が美しく豊かなまち	5.住宅事情がよく、住環境の優れたまち	13.交通の便のよいまち
現在の悪いイメージ	4.働く場が少ないまち	1.特に特徴がなく、個性に乏しいまち	2.特色ある産業がないまち 8.観光・レクリエーションの場が少ないまち
将来のイメージ	4.働く場が充実したまち	9.高齢者などが住みやすい福祉、医療のまち	6.海、山、川などの自然が美しく豊かなまち

図表 22 現在の大村市に対する良いイメージ



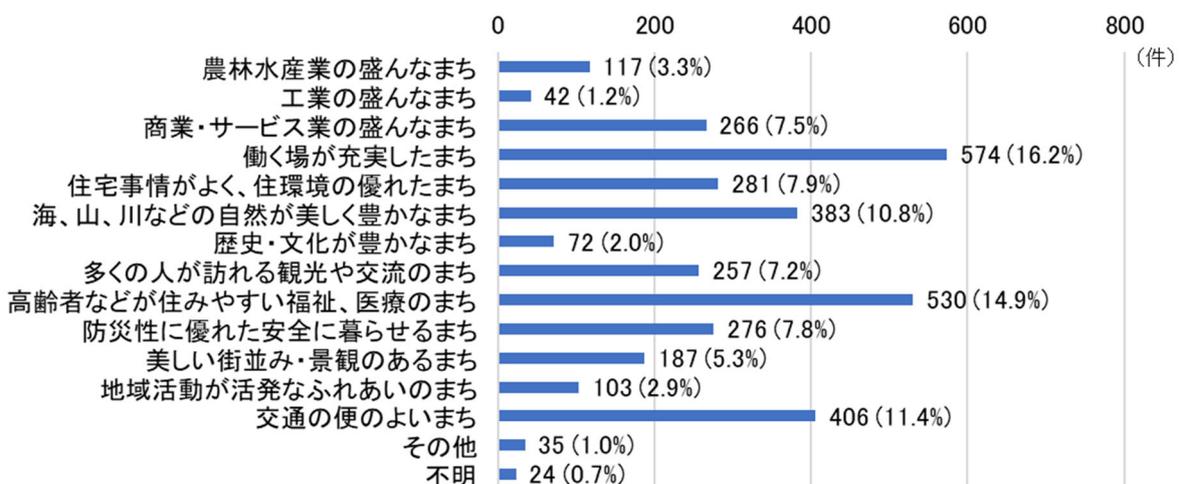
n=1268

図表 23 現在の大村市に対する悪いイメージ



n=1268

図表 24 将来の大村市のイメージ



n=1268

## 2.4 「お住いの地区」のまちづくりについて

### (1) 伸ばすべき特徴や担うべき役割

現在、あなたがお住いの地区では、大村市全体の発展を考えるなかで、どのような特徴を伸ばし、どのような役割を担っていくべきとお考えでしょうか。

最も近いものを2つまで選んで「○」をつけてください。

- 市全体では、前回調査結果と同様に、『総合的な暮らしやすさ』を提供するまち「豊かな自然を活かした『環境にやさしいまち』」が上位3項目の中に入っており、松原地区・大村地区を除く6地区においても同様の傾向がみられる。
- さらに、市全体では、今回調査で新たに「長崎空港や新幹線など高速交通体系が充実する『交通要衝のまち』」が上位3項目に入っている。

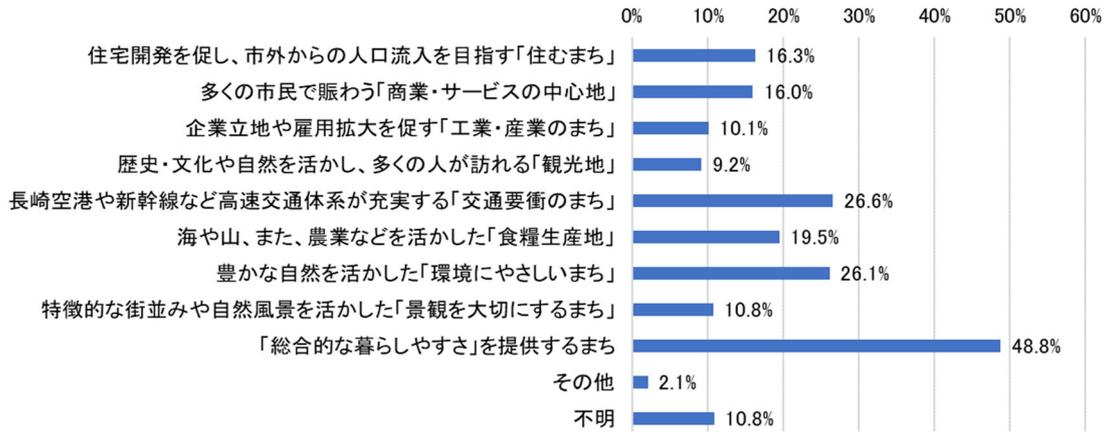
図表 25 伸ばすべき特徴や担うべき役割上位3項目

	1位	2位	3位
市全体	「総合的な暮らしやすさ」	「交通要衝のまち」	「環境にやさしいまち」
松原地区	「総合的な暮らしやすさ」	「住むまち」	「食糧生産地」
福重地区	「総合的な暮らしやすさ」	「食糧生産地」	「環境にやさしいまち」
萱瀬地区	「環境にやさしいまち」	「総合的な暮らしやすさ」	「食糧生産地」
竹松地区	「総合的な暮らしやすさ」	「交通要衝のまち」	「環境にやさしいまち」
西大村地区	「総合的な暮らしやすさ」	「交通要衝のまち」	「環境にやさしいまち」
大村地区	「総合的な暮らしやすさ」	「交通要衝のまち」 (2,3位同率)	「商業・サービスの中心地」 (2,3位同率)
鈴田地区	「環境にやさしいまち」	「食糧生産地」	「総合的な暮らしやすさ」
三浦地区	「環境にやさしいまち」	「総合的な暮らしやすさ」	「食糧生産地」

### ■参考 ■前回調査結果

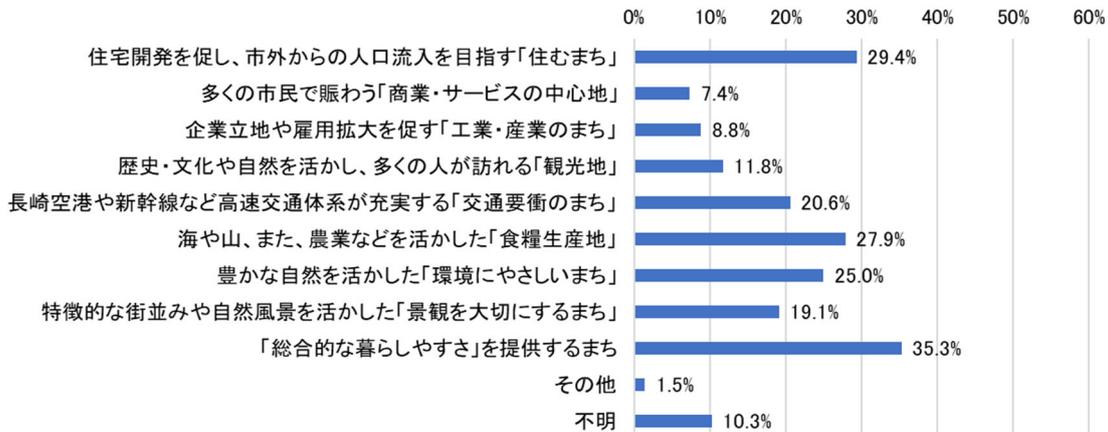
	1位	2位	3位
市全体	「総合的な暮らしやすさ」	「環境にやさしいまち」	「食糧生産地」
松原地区	「環境にやさしいまち」	「食糧生産地」	「総合的な暮らしやすさ」
福重地区	「総合的な暮らしやすさ」	「食糧生産地」	「環境にやさしいまち」
萱瀬地区	「環境にやさしいまち」	「食糧生産地」 (2,3位同率)	「総合的な暮らしやすさ」 (2,3位同率)
竹松地区	「総合的な暮らしやすさ」	「環境にやさしいまち」	「住むまち」
西大村地区	「総合的な暮らしやすさ」	「環境にやさしいまち」	「交通要衝のまち」
大村地区	「総合的な暮らしやすさ」	「環境にやさしいまち」	「商業・サービスの中心地」
鈴田地区	「食糧生産地」	「総合的な暮らしやすさ」	「環境にやさしいまち」
三浦地区	「環境にやさしいまち」	「食糧生産地」	「総合的な暮らしやすさ」

図表 26 伸ばすべき特徴や担うべき役割(全体)



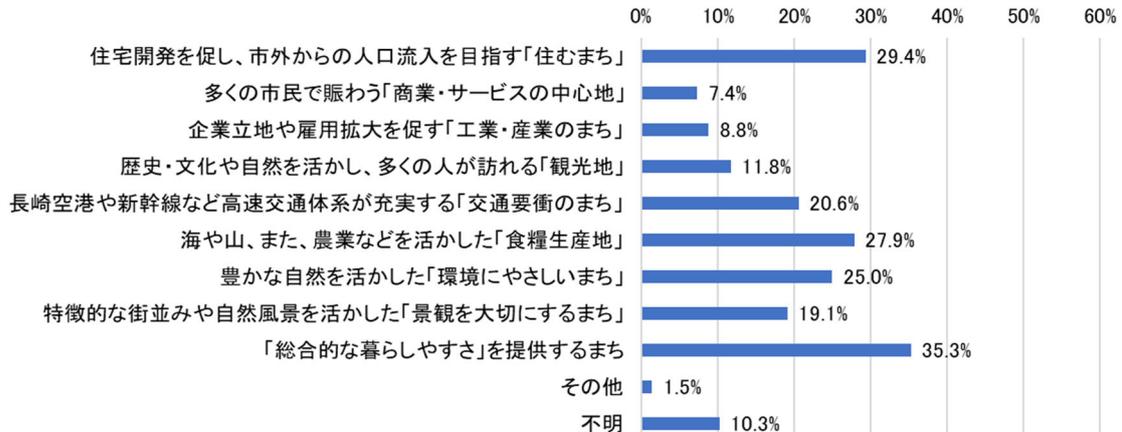
n=1144

図表 27 伸ばすべき特徴や担うべき役割(松原地区)



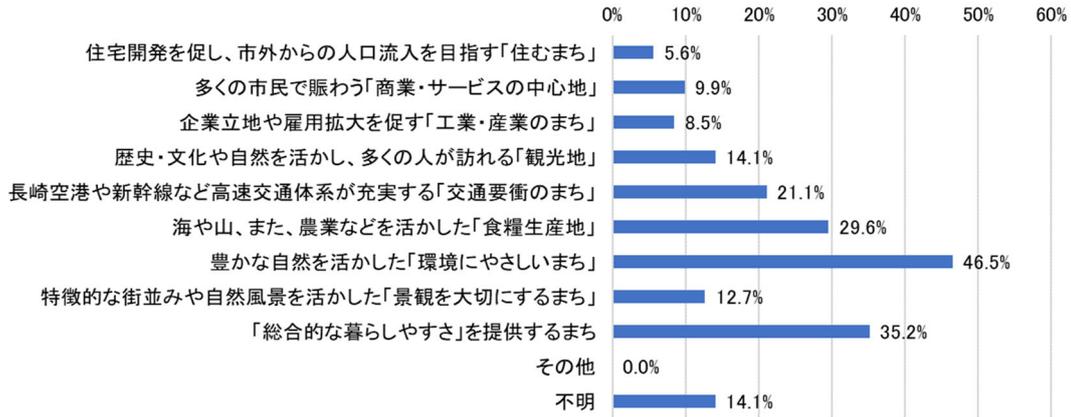
n=68

図表 28 伸ばすべき特徴や担うべき役割(福重地区)



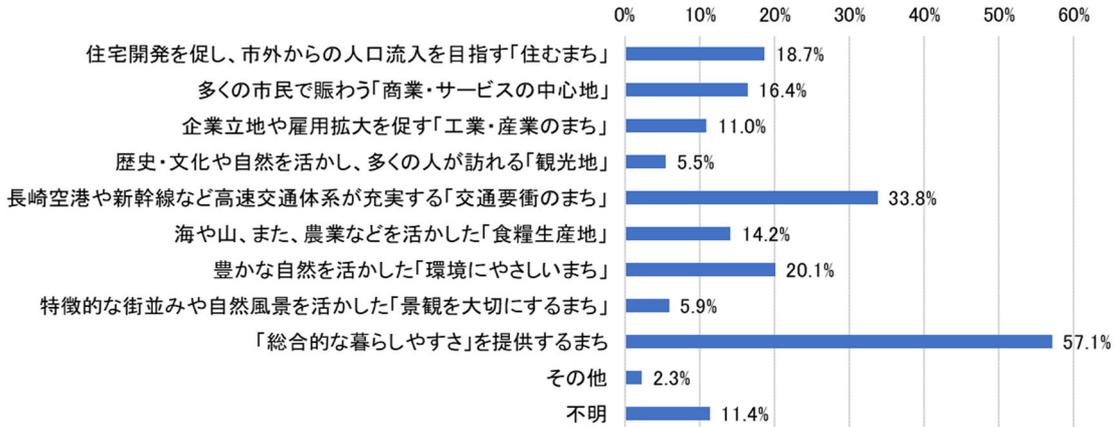
n=77

図表 29 伸ばすべき特徴や担うべき役割(萱瀬地区)



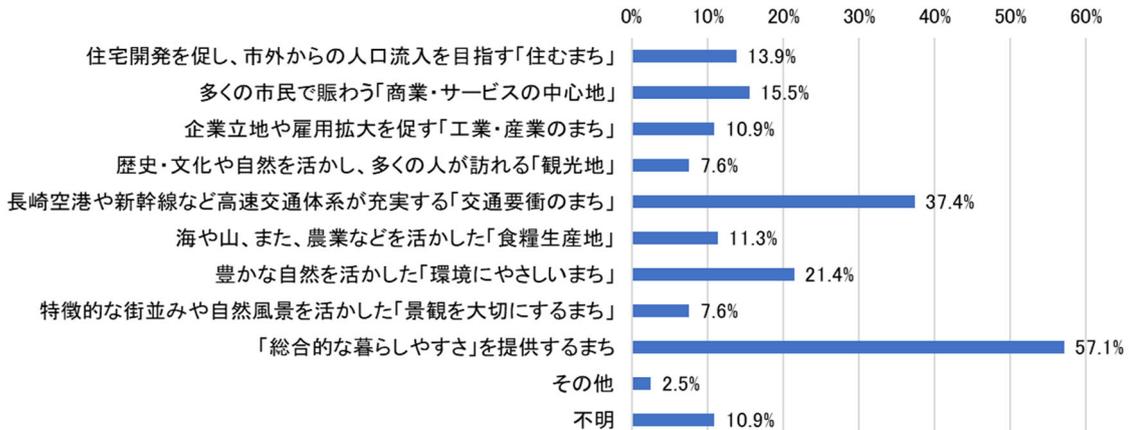
n=71

図表 30 伸ばすべき特徴や担うべき役割(竹松地区)



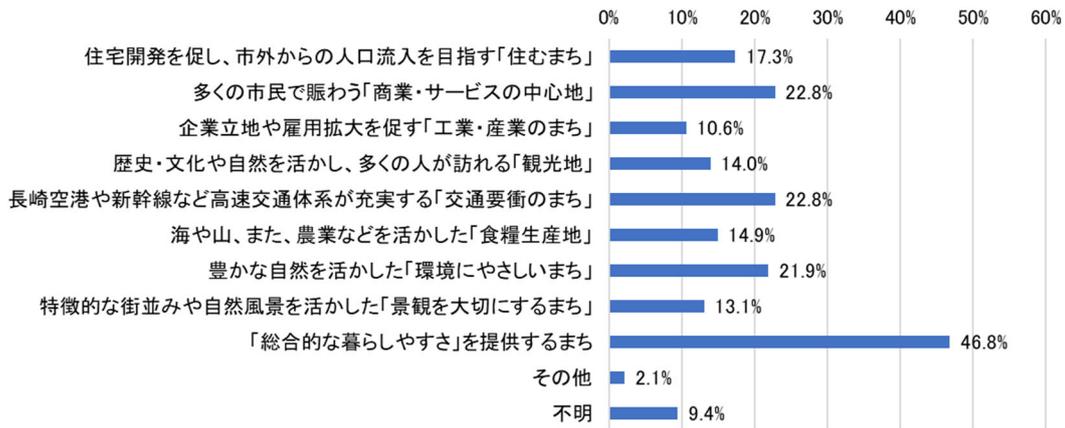
n=219

図表 31 伸ばすべき特徴や担うべき役割(西大村地区)



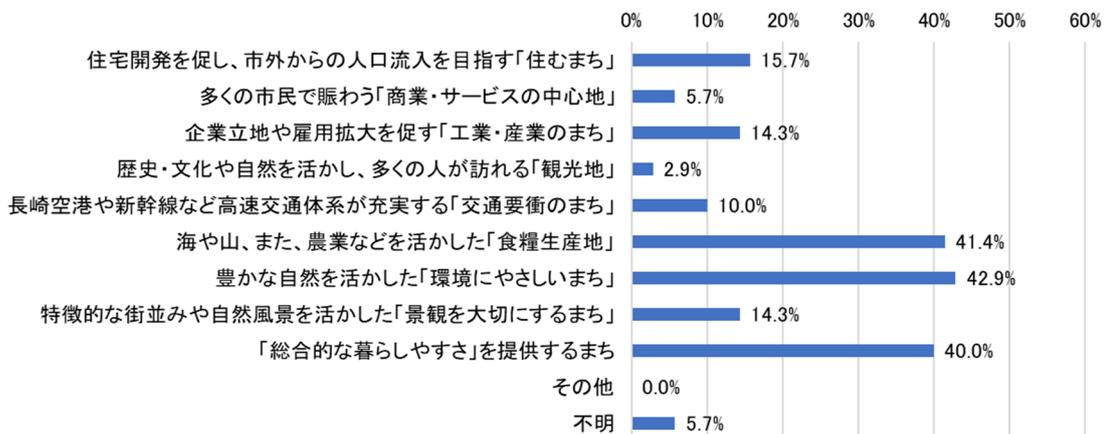
n=238

図表 32 伸ばすべき特徴や担うべき役割(大村地区)



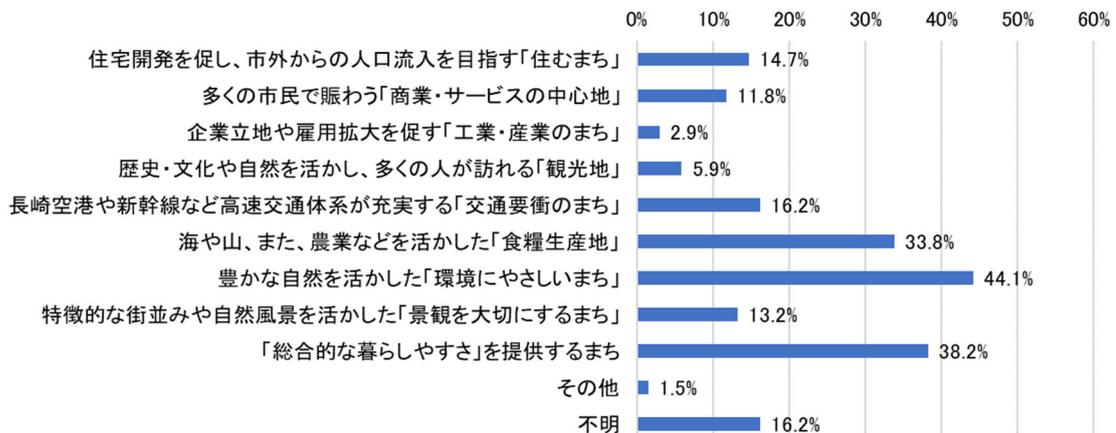
n=329

図表 33 伸ばすべき特徴や担うべき役割(鈴田地区)



n=70

図表 34 伸ばすべき特徴や担うべき役割(三浦地区)



n=68

(2) 今後の地区のまちづくりに活用していきたいもの（記述式）

現在、あなたがお住いの地区で、特に大切に守っていききたいものや、自慢したいものなど、今後の地区のまちづくりに活用していきたいものなどがありましたら、具体的にご記入ください。※景観や特産品、歴史、伝統文化、祭り、人材…など、有形・無形を問いません。

- ・ 今後のまちづくりに活用していきたいものとして、景観や伝統文化に関する意見が比較的多くみられ、下表のようなキーワードが多く出された。

区分	キーワード
景観	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 山・川・海の景観</li> <li>➤ 丘陵地・多良山系・寺島の景観</li> <li>➤ 大村湾の景色、高い所に登らなくても大村湾が見える特色</li> <li>➤ 郡川周辺・野岳湖・池田湖の景観</li> <li>➤ 田園風景・稲刈り時に咲く彼岸花と農道の景観</li> <li>➤ 大村桜、桜並木、千本桜</li> <li>➤ 大村公園の桜・花・石壁・土壁</li> <li>➤ 波止場に向けて眺める夕日の美しさ、夜景</li> <li>➤ 昔から残る船着き場や海岸線の風</li> <li>➤ 海上空港の眺め</li> <li>➤ 歴史を感じる景観</li> <li>➤ 蛸などの生き物、鳥や虫の鳴き声</li> </ul>
特産品	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 黒田五寸人参、米、のだけ新茶</li> <li>➤ 梨・葡萄・苺・みかん</li> <li>➤ ナマコ・モンゴウイカ</li> <li>➤ 大村寿司、ゆでピーナッツ、煮ごみ、だご汁、松原おこし</li> </ul>
歴史	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 忠霊塔、旧大村藩の跡地</li> <li>➤ 長崎街道、松原宿の松屋旅館</li> <li>➤ キリシタン史跡</li> <li>➤ 歴史的建造物、文化財、昊天宮、八幡神社</li> </ul>
伝統文化	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 郡三踊（黒丸踊り、沖田踊り、寿古踊り）、龍踊り</li> <li>➤ 伝統的な祭り、松原くんち、夏越まつり</li> <li>➤ 竹細工、松原鎌包丁</li> </ul>
人材	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 地域との繋がり、近所づきあい、人との繋がり、人柄</li> <li>➤ 活気ある町内活動、ボランティア活動、子ども会、老人会</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 住宅環境、住みやすさ、生活利便の高さ</li> <li>➤ 大村空港、新幹線駅、交通アクセスの良さ、広くゆったりとした道路、自転車専用道路</li> <li>➤ 子育てのしやすさ</li> <li>➤ カヌーやマリンスポーツ、琴平スカイパークなどの自然に触れ合える施設</li> </ul>

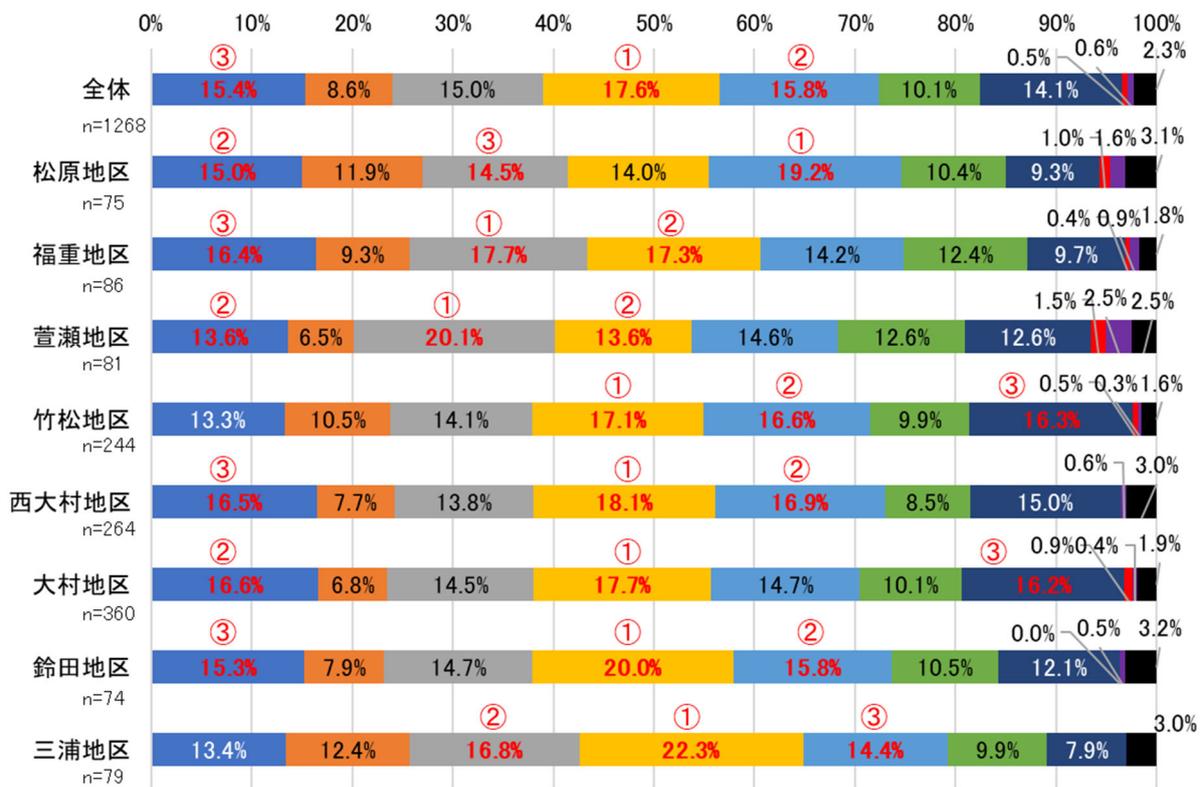
## 2.5 「コンパクトシティ・プラス・ネットワーク」のまちづくりについて

### (1) 人口減少・少子高齢化により懸念される重要な問題

今後、人口が減少し、少子高齢化が進むことにより懸念される問題について、どれが重要だと思いますか。あてはまるものを3つまで選んで「○」をつけてください。

- 市全体をみると、人口減少・少子高齢化により懸念される重要な問題として、「公共施設や道路・下水道などを維持するため、市民一人当たりの税負担が大きくなる」（17.6%、576票）が上位3項目の中に入っており、松原地区を除く7地区においても同様の傾向がみられる。
- さらに、市全体では、「空家や空地が増加し、治安の悪化や景観の悪化につながる」（15.8%、516票）、「身近で買い物をする場所がなくなる（利用者が減ることで店舗が閉店する）」（15.4%、504票）が上位3項目に挙げられる。

図表 35 人口減少・少子高齢化により懸念される重要な問題



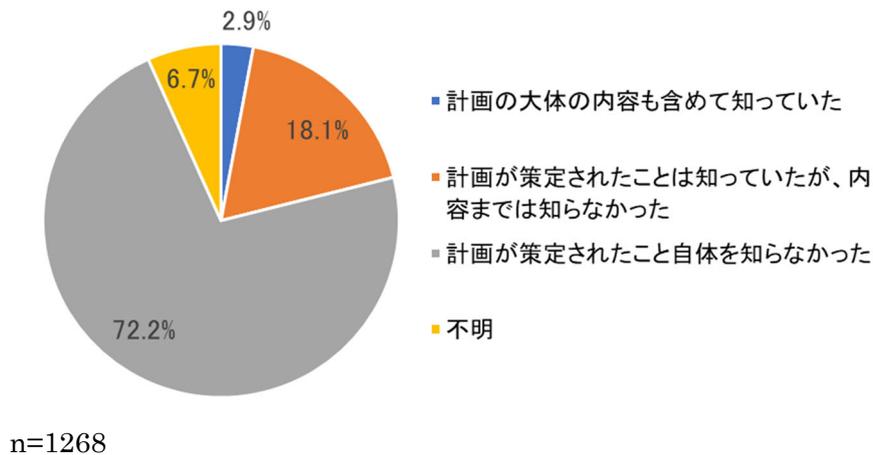
- 身近で買い物をする場所がなくなる（利用者が減ることで店舗が閉店する）
- 通院先となる病院や診療所がなくなる
- 鉄道やバスなどの公共交通が不便になる
- 公共施設や道路・下水道などを維持するため、市民一人当たりの税負担が大きくなる
- 空家や空地が増加し、治安の悪化や景観の悪化につながる
- 地域コミュニティ（住民同士のつながりや集まり）が衰退し、地域の活動や祭り・イベントなどがなくなる
- 企業などが減少することで、働く場所が少なくなる
- 特になし
- その他
- 不明

(2) 『大村市立地適正化計画』の認知度

「コンパクトシティ・プラス・ネットワーク」のまちづくりに向けて、大村市では平成 29 年 3 月に『大村市立地適正化計画』を策定していますが、計画についてご存じでしたか。  
(あてはまるもの一つに「○」)

- ・ 「計画が策定されたこと自体を知らなかった」が 72.2% (916 票) と最も多く、過半数を占める。

図表 36 『大村市立地適正化計画』の認知度

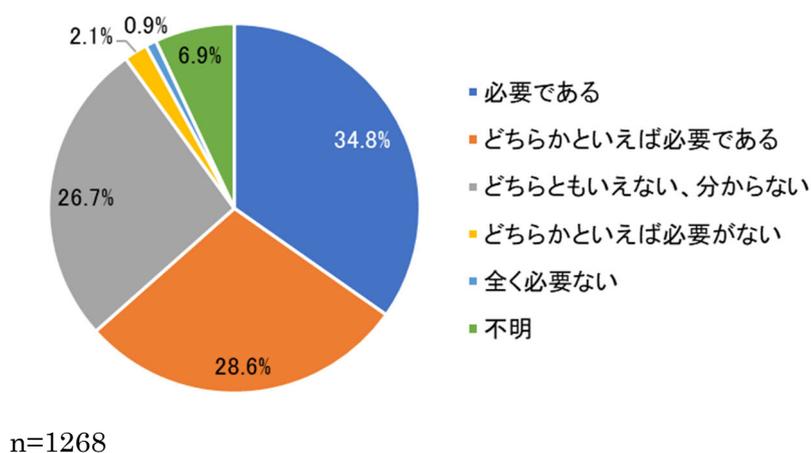


(3) 「コンパクトシティ・プラス・ネットワーク」のまちづくりの必要性

「コンパクトシティ・プラス・ネットワーク」のまちづくりを進めていくことについて、どのようにお感じになりますか。(もっとも近いもの一つに「○」)

- ・ 「必要である」が 34.8% (441 票) と最も多く、次いで「どちらかといえば必要である」が 28.6% (363 票) を占めており、回答者の過半数が「コンパクトシティ・プラス・ネットワーク」のまちづくりを必要と感じている。

図表 37 「コンパクトシティ・プラス・ネットワーク」のまちづくりの必要性



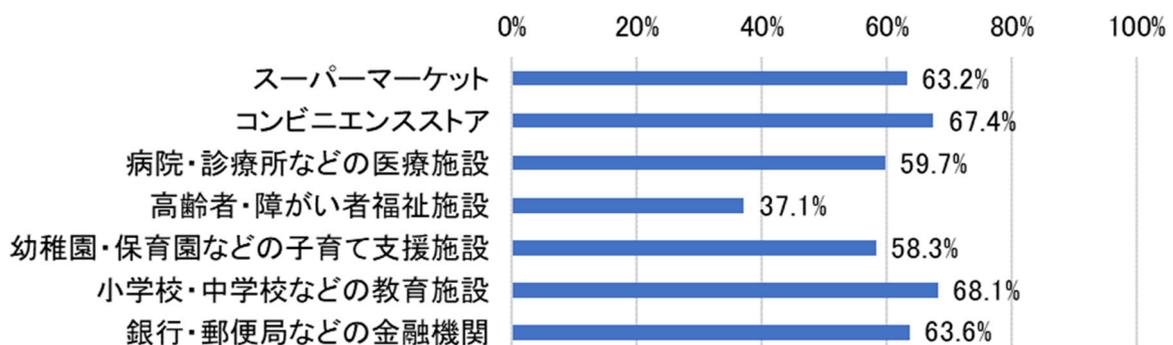
## 2.6 現在の住いや、将来の居留意向について

### (1) 住い周辺にある施設

現在のお住いの周辺（徒歩や自転車で移動できる範囲）に以下のような施設はありますか。  
（あてはまるもの全てに「○」）

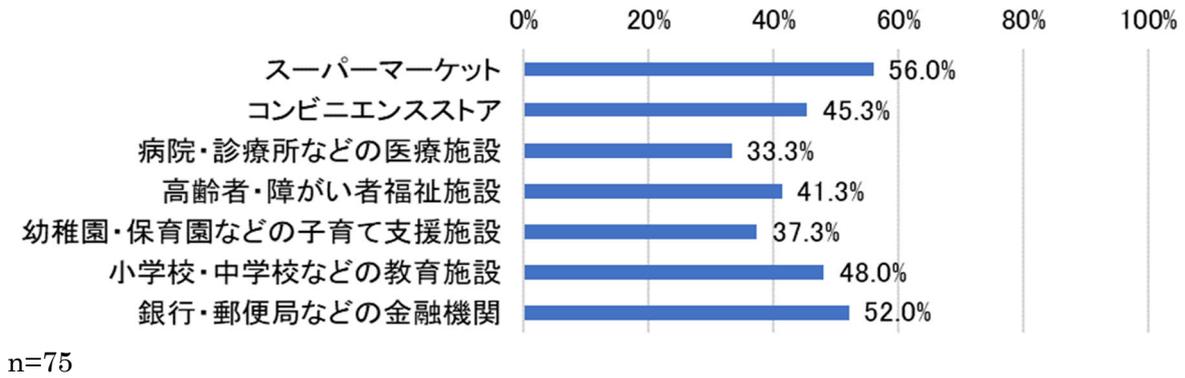
- ・ 市全体では、回答者の半数以上が、「高齢者・障がい者福祉施設」以外の各種施設について、現在の住まい周辺に立地していると回答している。一方、「高齢者・障がい者福祉施設」については37.1%に留まる。
- ・ 松原地区では、「スーパーマーケット」、「銀行・郵便などの金融機関」について、回答者の半数以上が現在の住まい周辺に立地していると回答している。一方、「病院・診療所などの医療施設」については33.3%に留まり、最も割合が少なくなっている。
- ・ 福重地区では、「コンビニエンスストア」、「小学校・中学校などの教育施設」について、回答者の半数以上が現在の住まい周辺に立地していると回答している。一方、「スーパーマーケット」については30.2%に留まり、最も割合が少なくなっている。
- ・ 萱瀬地区では、「小学校・中学校などの教育施設」について、回答者の半数以上が現在の住まい周辺に立地していると回答している。一方、「病院・診療所などの医療施設」については6.2%に留まり、最も割合が少なくなっている。
- ・ 竹松地区・西大村地区・大村地区では、「高齢者・障がい者福祉施設」以外の施設について、回答者の半数以上が現在の住まい周辺に立地していると回答している。一方、「病院・診療所などの医療施設」については、30～40%台に留まり、他の施設と大きな差が生じている。
- ・ 鈴田地区では、「スーパーマーケット」、「病院・診療所などの医療施設」、「高齢者・障がい者福祉施設」以外の施設について、回答者の半数以上が現在の住まい周辺に立地していると回答している。一方、「スーパーマーケット」や「病院・診療所などの医療施設」については10%台に留まり、他の施設と大きな差が生じている。
- ・ 三浦地区では、「スーパーマーケット」について、回答者の半数以上が現在の住まい周辺に立地していると回答している。一方、「病院・診療所などの医療施設」については6.3%に留まり、最も割合が少なくなっている。

図表 38 住まい周辺にある施設(全体)

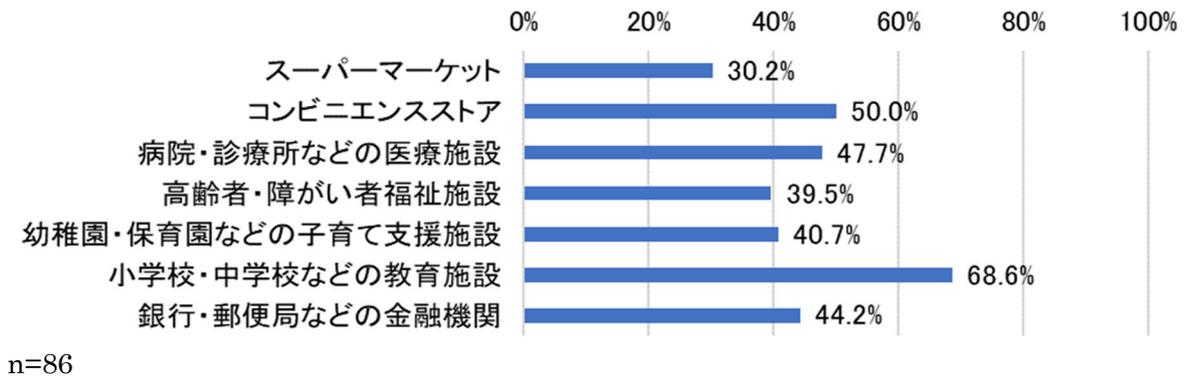


n=1268

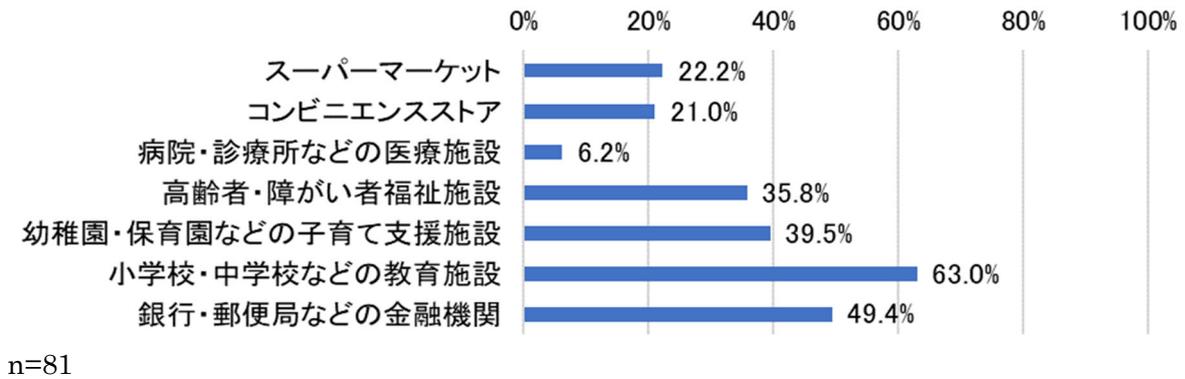
図表 39 住まい周辺にある施設(松原地区)



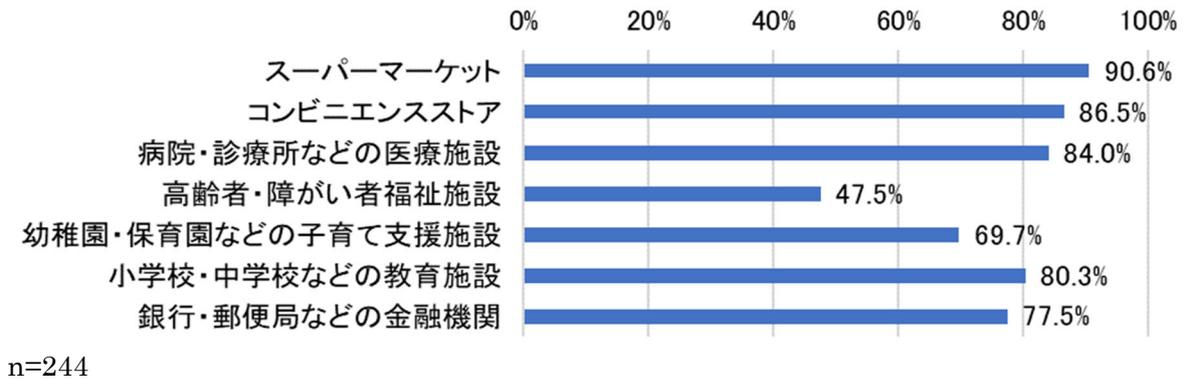
図表 40 住まい周辺にある施設(福重地区)



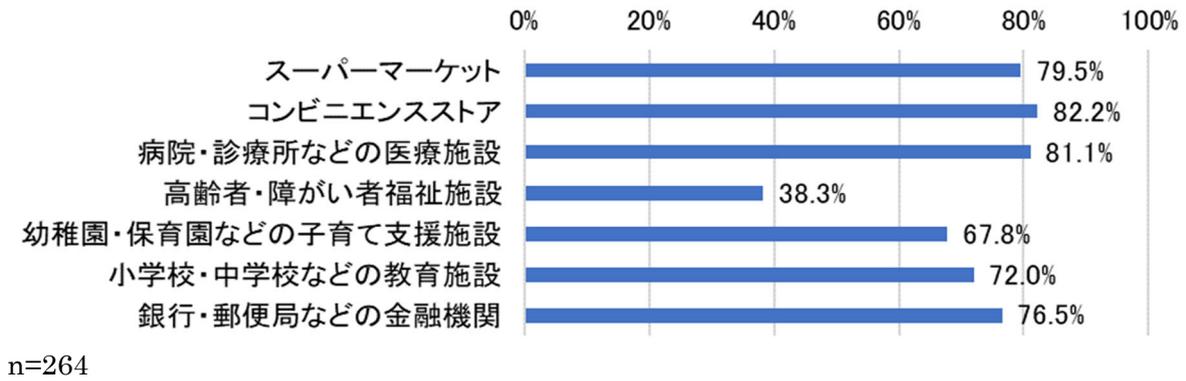
図表 41 住まい周辺にある施設(萱瀬地区)



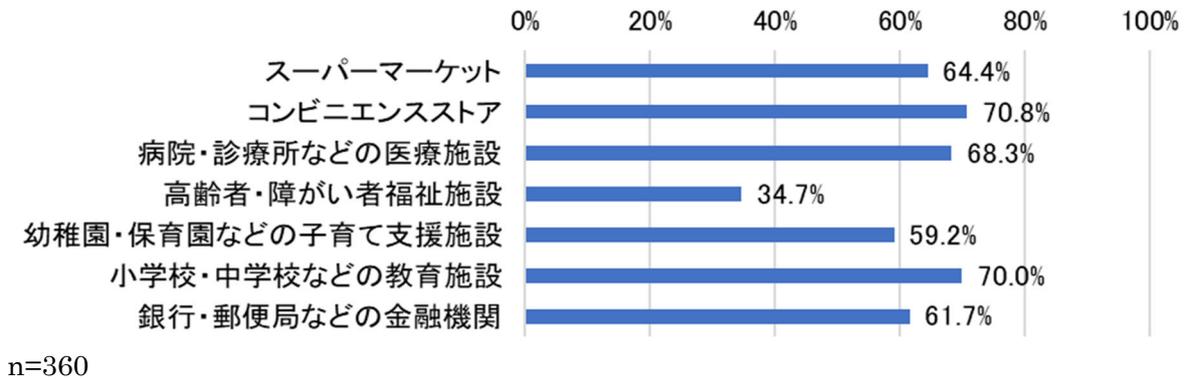
図表 42 住まい周辺にある施設(竹松地区)



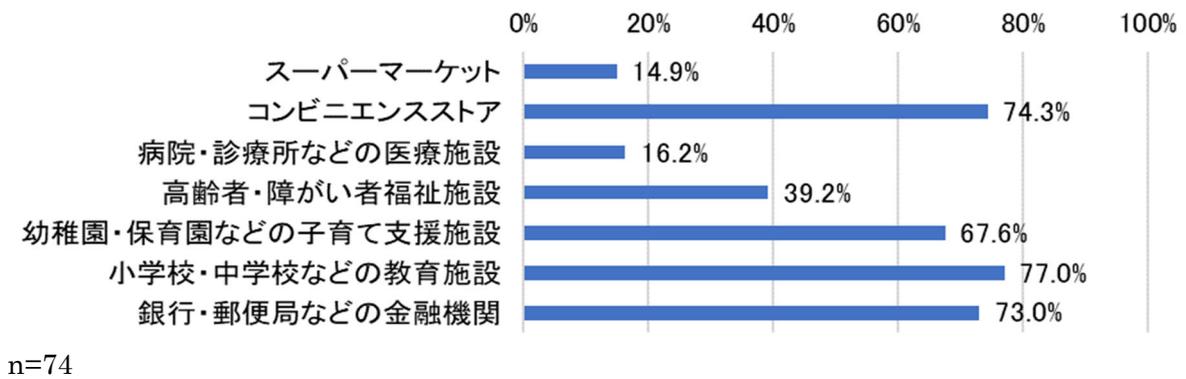
図表 43 住まい周辺にある施設(西大村地区)



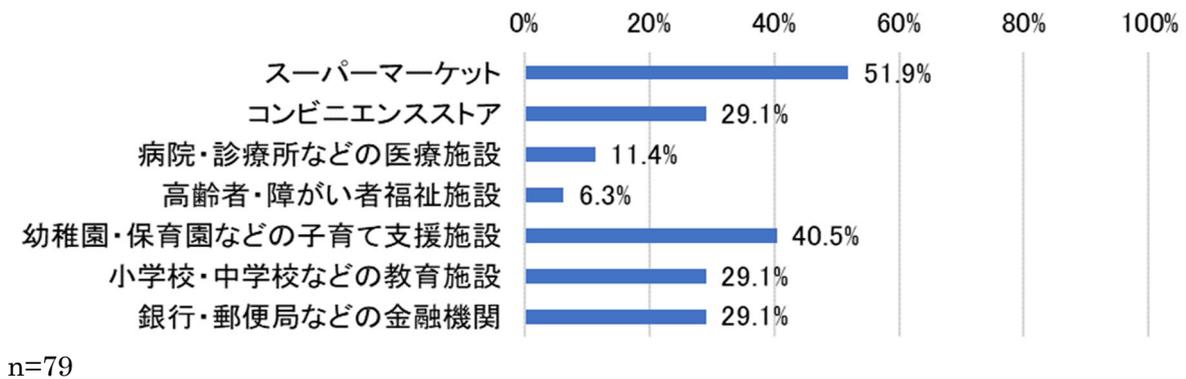
図表 44 住まい周辺にある施設(大村地区)



図表 45 住まい周辺にある施設(鈴田地区)



図表 46 住まい周辺にある施設(三浦地区)

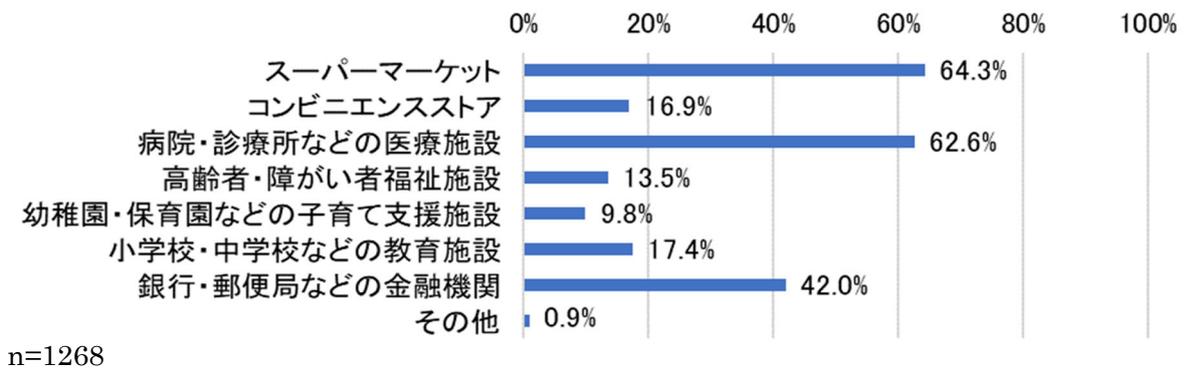


(2) 住まい周辺に欠かせない施設

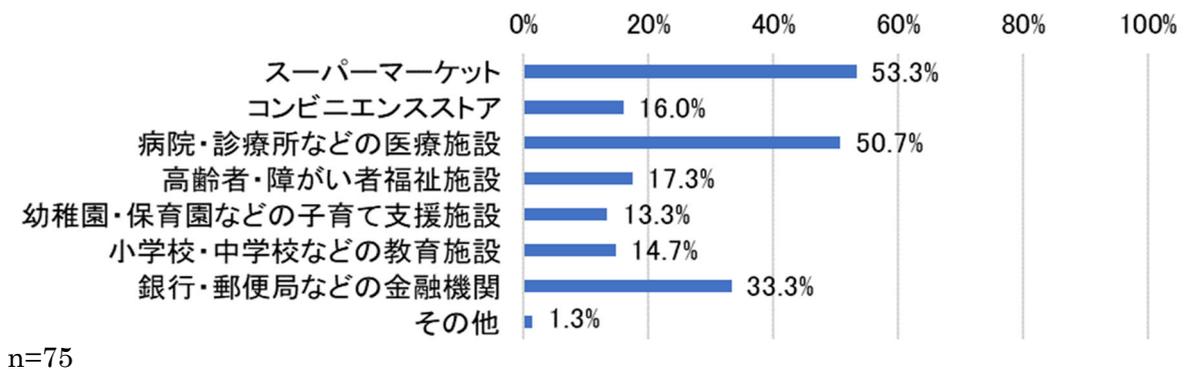
日常生活のなかでお住いの周辺（徒歩や自転車で移動できる範囲）に欠かせない施設は何ですか。（特に欠かせないものを3つまで選んで「○」）

- ・ 市全体では、住まい周辺に欠かせない施設として、「スーパーマーケット」、「病院・診療所などの医療施設」、「銀行・郵便局などの金融機関」が上位3項目にあがっており、特に、「スーパーマーケット」、「病院・診療所などの医療施設」については、回答者の半数以上が欠かせないと回答している。
- ・ 各地区についても、市全体の結果と同様に、「スーパーマーケット」、「病院・診療所などの医療施設」、「銀行・郵便局などの金融機関」が上位3項目にあがっている。

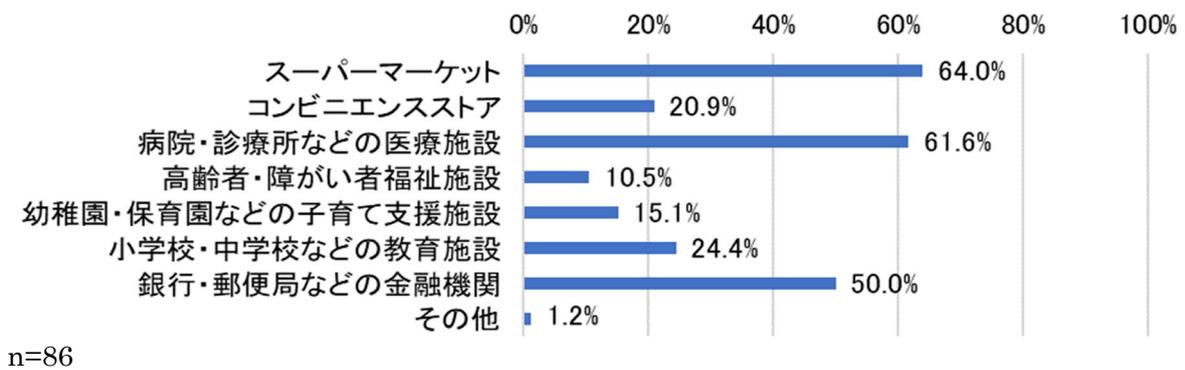
図表 47 住まい周辺に欠かせない施設(全体)



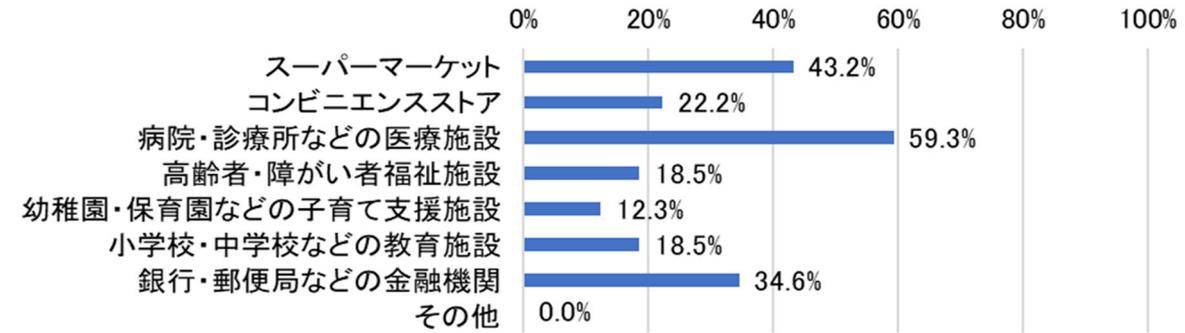
図表 48 住まい周辺に欠かせない施設(松原地区)



図表 49 住まい周辺に欠かせない施設(福重地区)

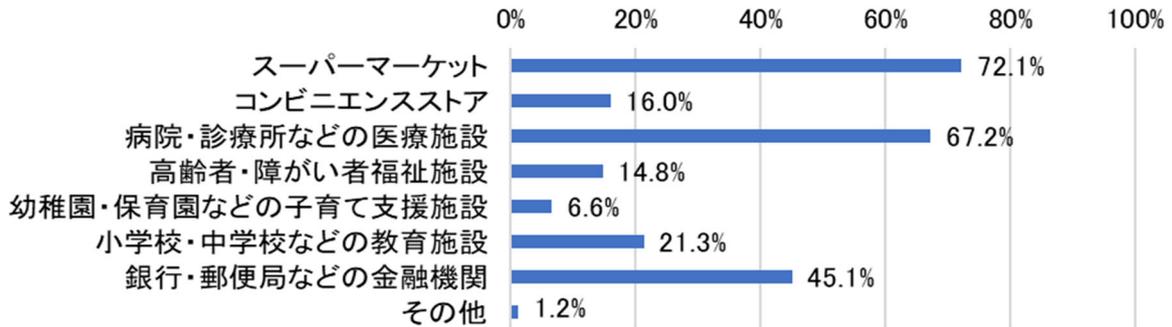


図表 50 住まい周辺に欠かせない施設(萱瀬地区)



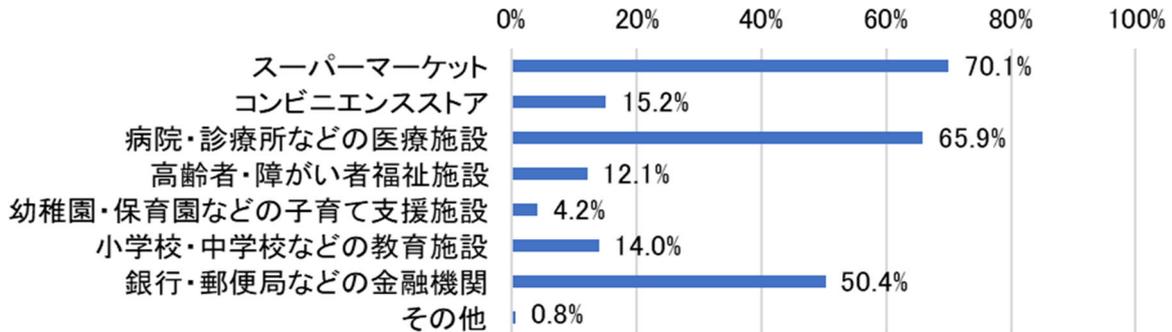
n=81

図表 51 住まい周辺に欠かせない施設(竹松地区)



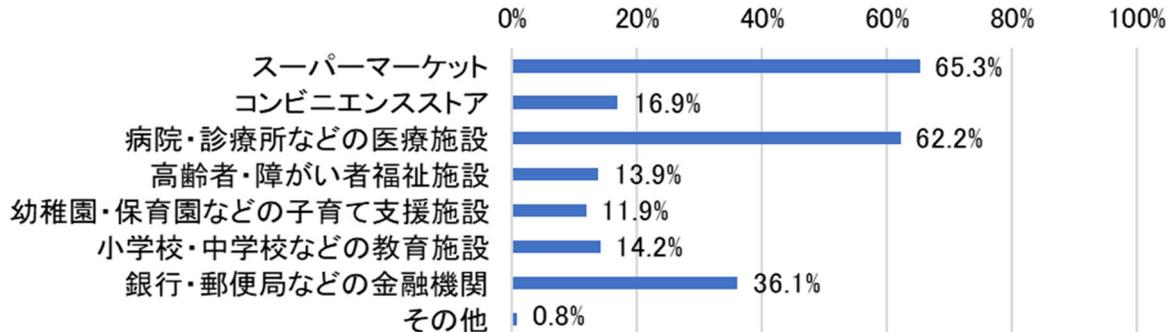
n=244

図表 52 住まい周辺に欠かせない施設(西大村地区)



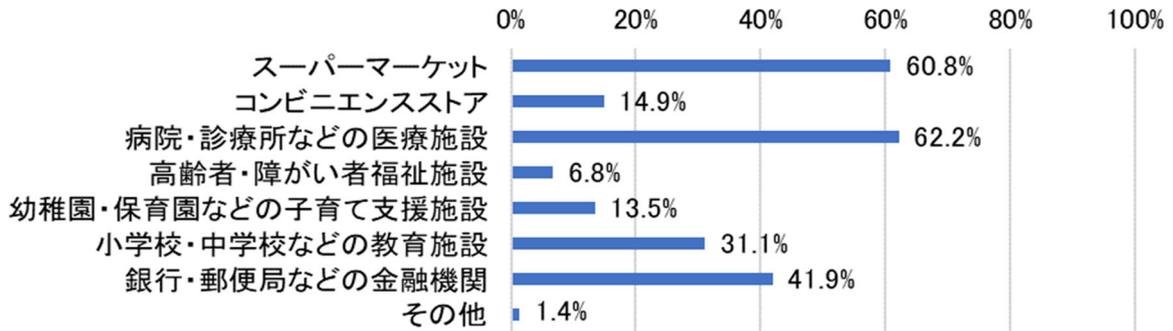
n=264

図表 53 住まい周辺に欠かせない施設(大村地区)



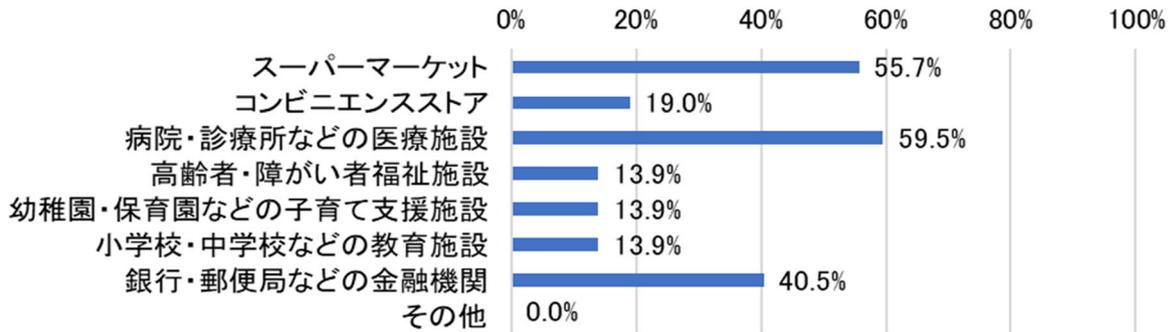
n=360

図表 54 住まい周辺に欠かせない施設(鈴田地区)



n=74

図表 55 住まい周辺に欠かせない施設(三浦地区)



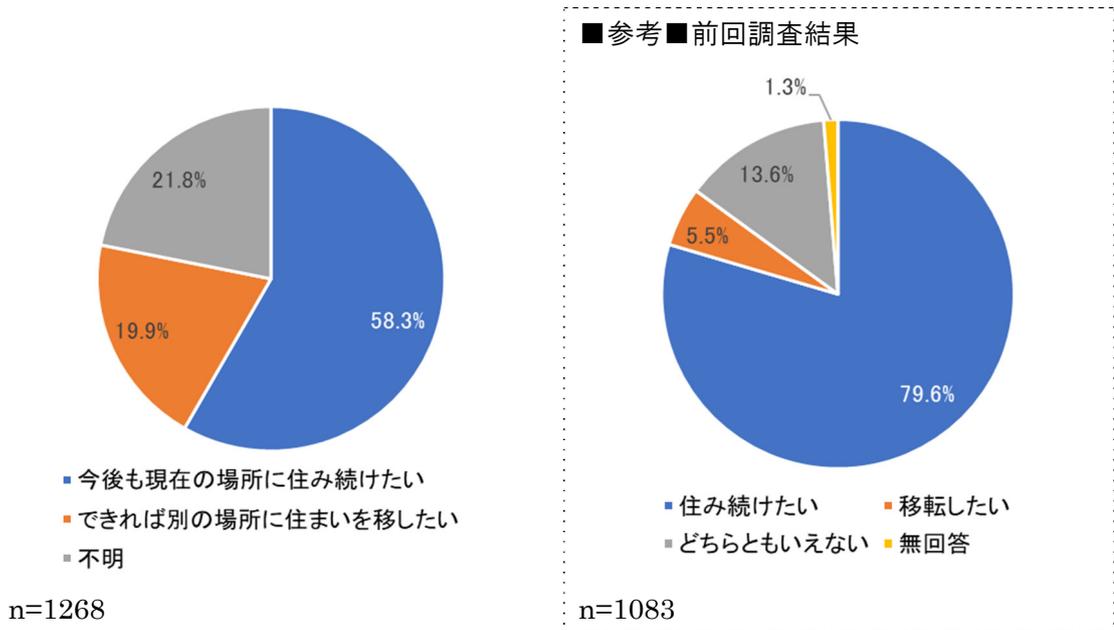
n=79

(3) 今後の居住意向

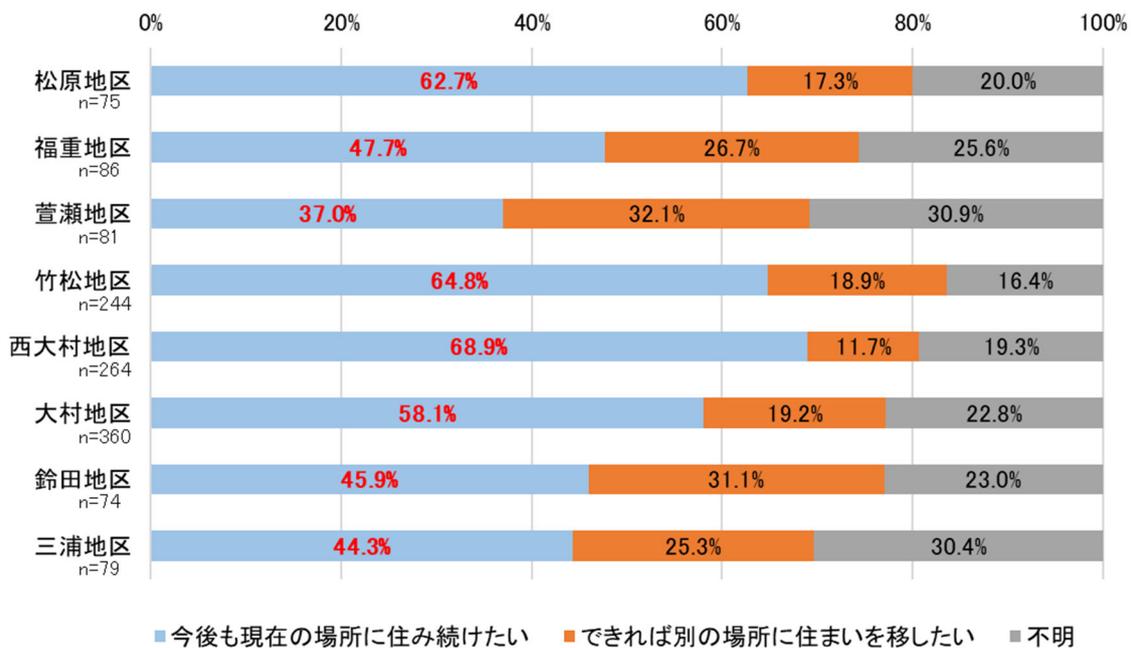
仮に、住む場所を大村市内で自由に選べるとしたら、あなたは、今後も現在の場所に住み続けたいと思いますか。(該当するものに「○」)

- ・ 「今後も現在の場所に住み続けたい」が58.3%（739票）と最も多く、前回調査結果の「住み続けたい」79.6%と比べて21.3%減となっている。
- ・ 一方、「できれば別の場所に住まいを移したい」との回答は19.9%（252票）を占めており、前回調査結果の「移転したい」5.5%と比べて14.4%増となっている。

図表 56 今後の居住意向(全体)



図表 57 今後の居住意向(地区別)

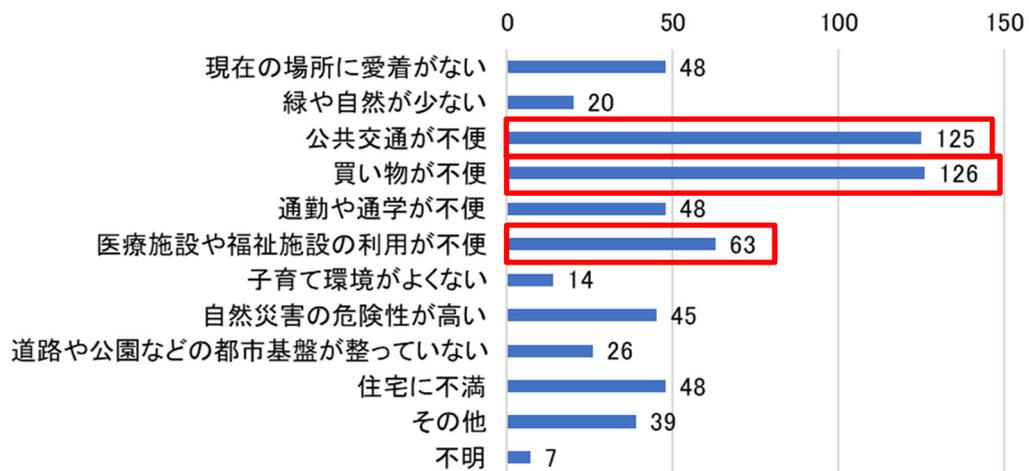


(4) 住まいを移したい理由

住まいを移したい理由はどのようなものですか。(特にあてはまるもの3つを選んで「○」)

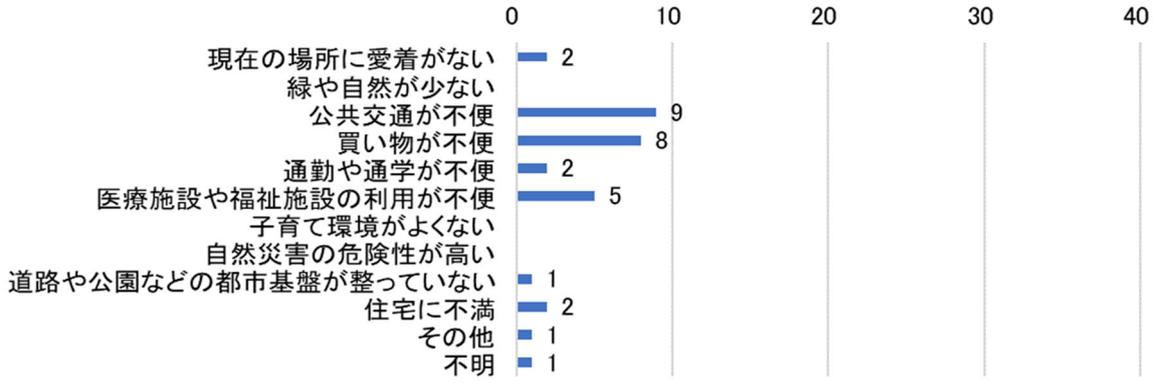
- ・ 住まいを移したい理由については、「買い物が不便」(20.7%、126票)、「公共交通が不便」(20.5%、125票)、「医療施設や福祉施設の利用が不便」(10.3%、63票)が上位3項目を占める。
- ・ 「買い物が不便」「公共交通が不便」については、前回調査結果でも上位にあげられていたが、「医療施設や福祉施設の利用が不便」については、前回調査から今回調査で、大きく順位を上げている。

図表 58 住まいを移したい理由



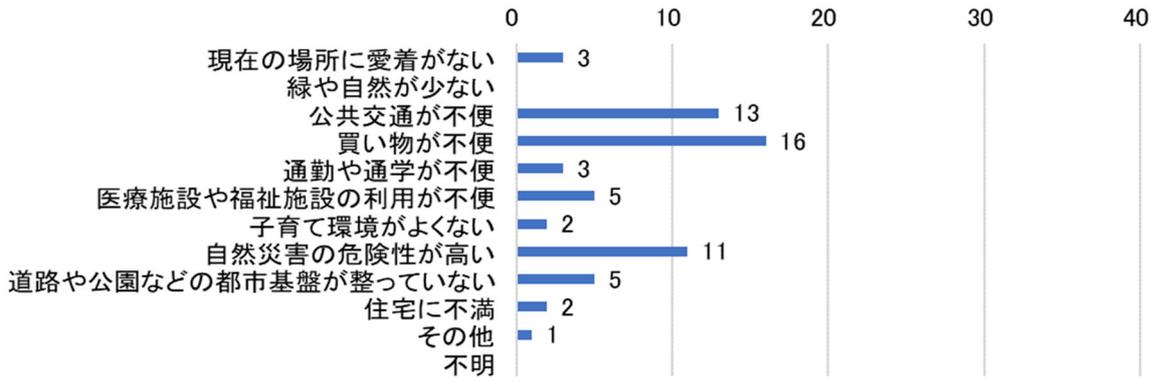
n=252

図表 59 住まいを移したい理由(松原地区)



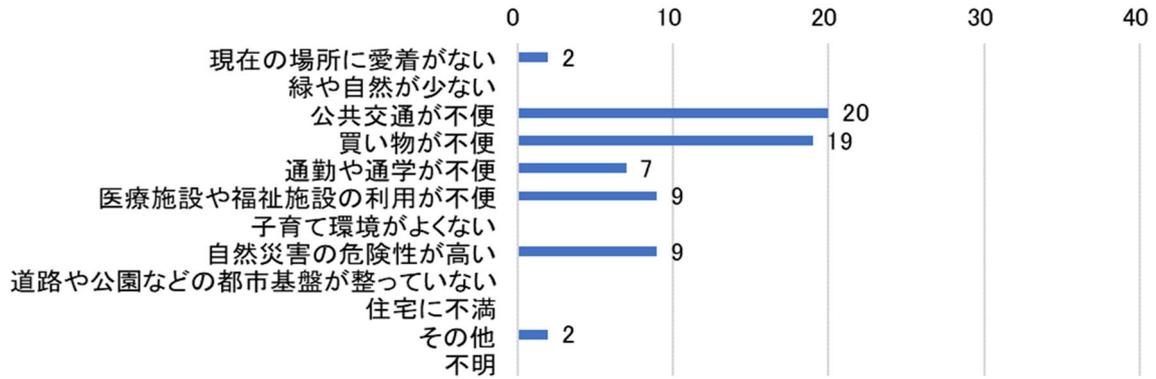
n=13

図表 60 住まいを移したい理由(福重地区)



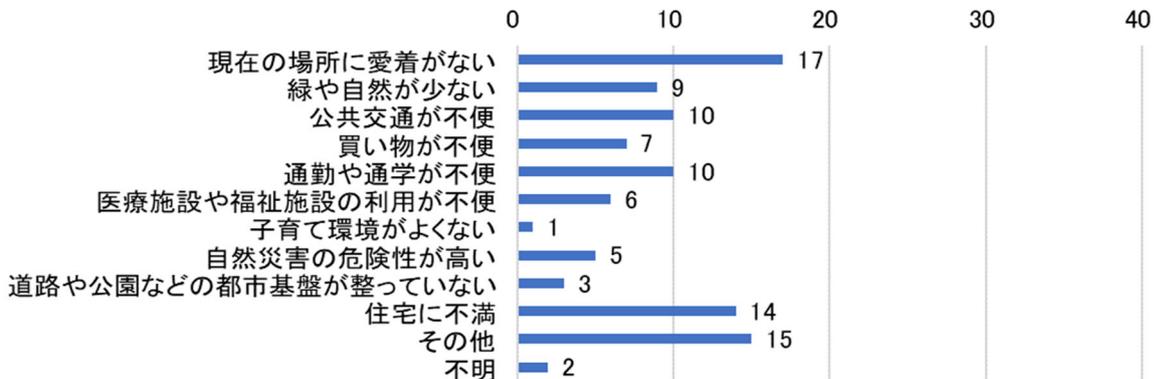
n=23

図表 61 住まいを移したい理由(萱瀬地区)



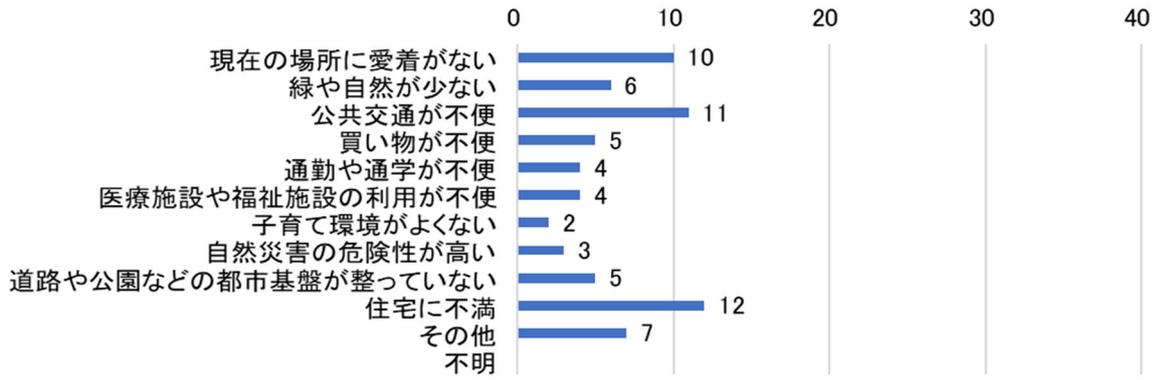
n=26

図表 62 住まいを移したい理由(竹松地区)



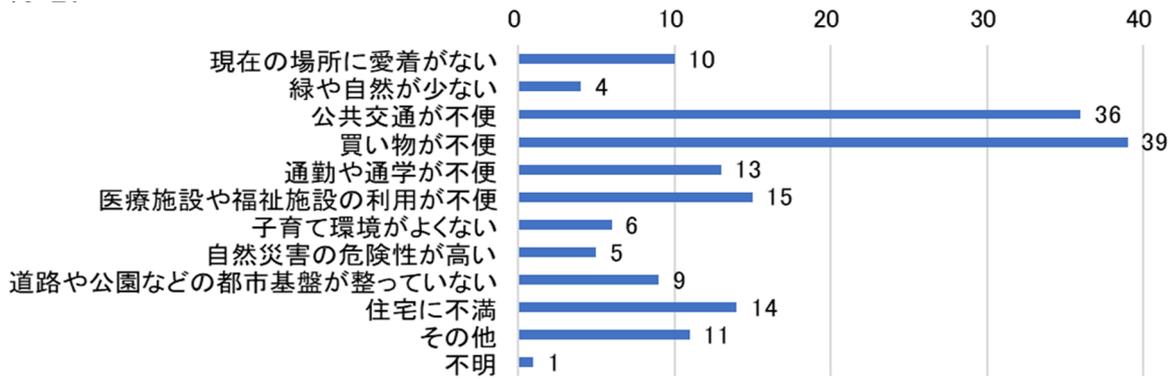
n=46

図表 63 住まいを移したい理由(西大村地区)



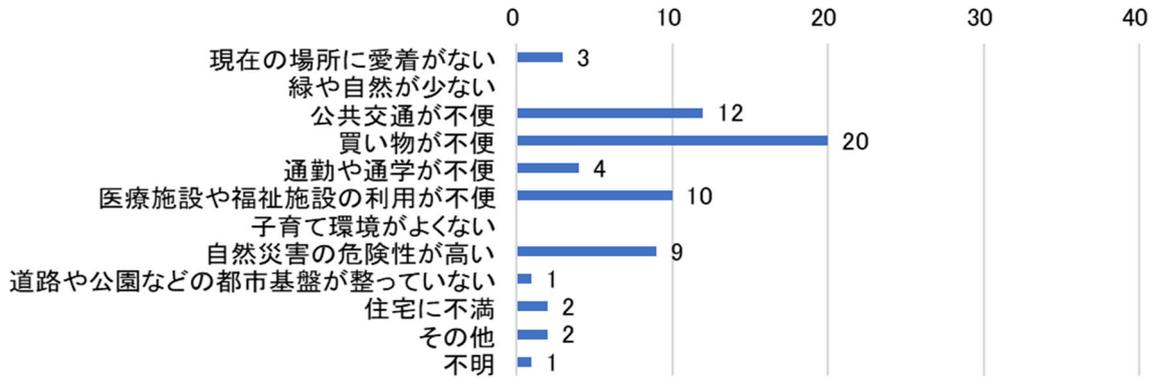
n=31

図表 64 住まいを移したい理由(大村地区)



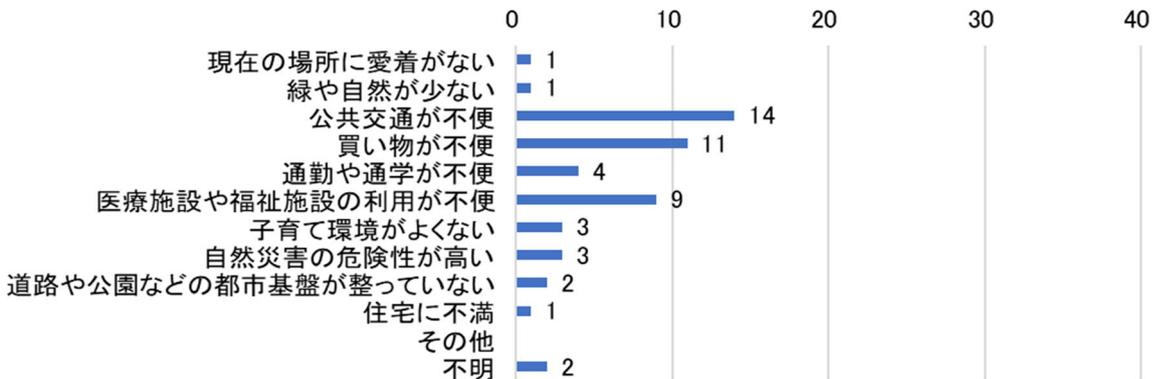
n=69

図表 65 住まいを移したい理由(鈴田地区)



n=23

図表 66 住まいを移したい理由(三浦地区)



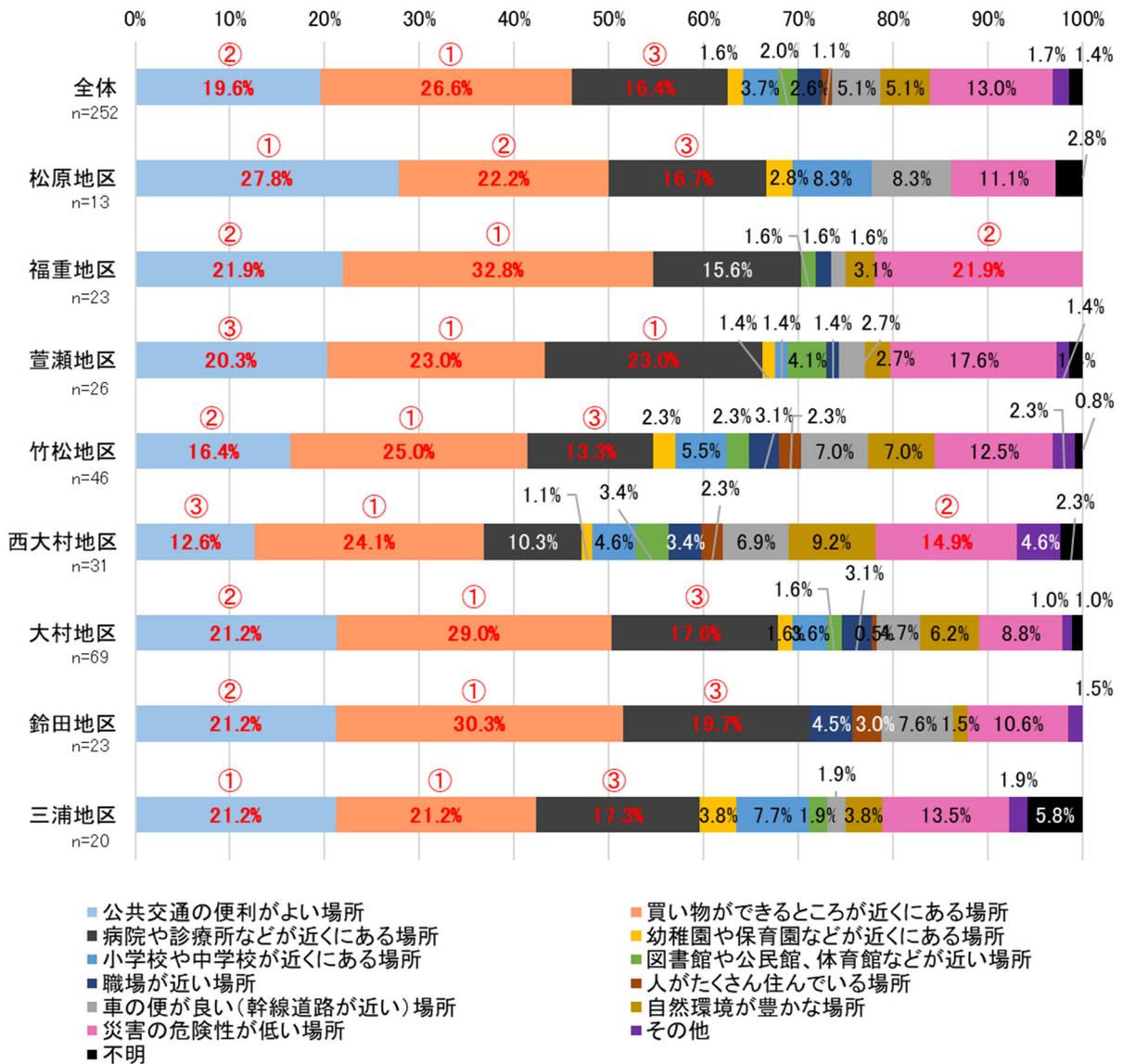
n=20

(5) 住まいを移す場合、移住先に求めること

住まいを移す場合、どのような場所がよいとお考えですか。(特に重要なものを3つまで選んで「○」)

- 市全体をみると、移住先に求めることとして、「公共交通の便利がよい場所」、「買い物ができるところが近くある場所」が上位3項目の中に入っており、地区別においても同様の傾向がみられる。
- さらに、市全体と福重地区・西大村地区を除く6地区では、「病院や診療所などが近くにある場所」が、福重地区・西大村地区では、「災害の危険性が低い場所」が上位3項目の中に入っている。

図表 67 住まいを移す場合、移住先に求めること

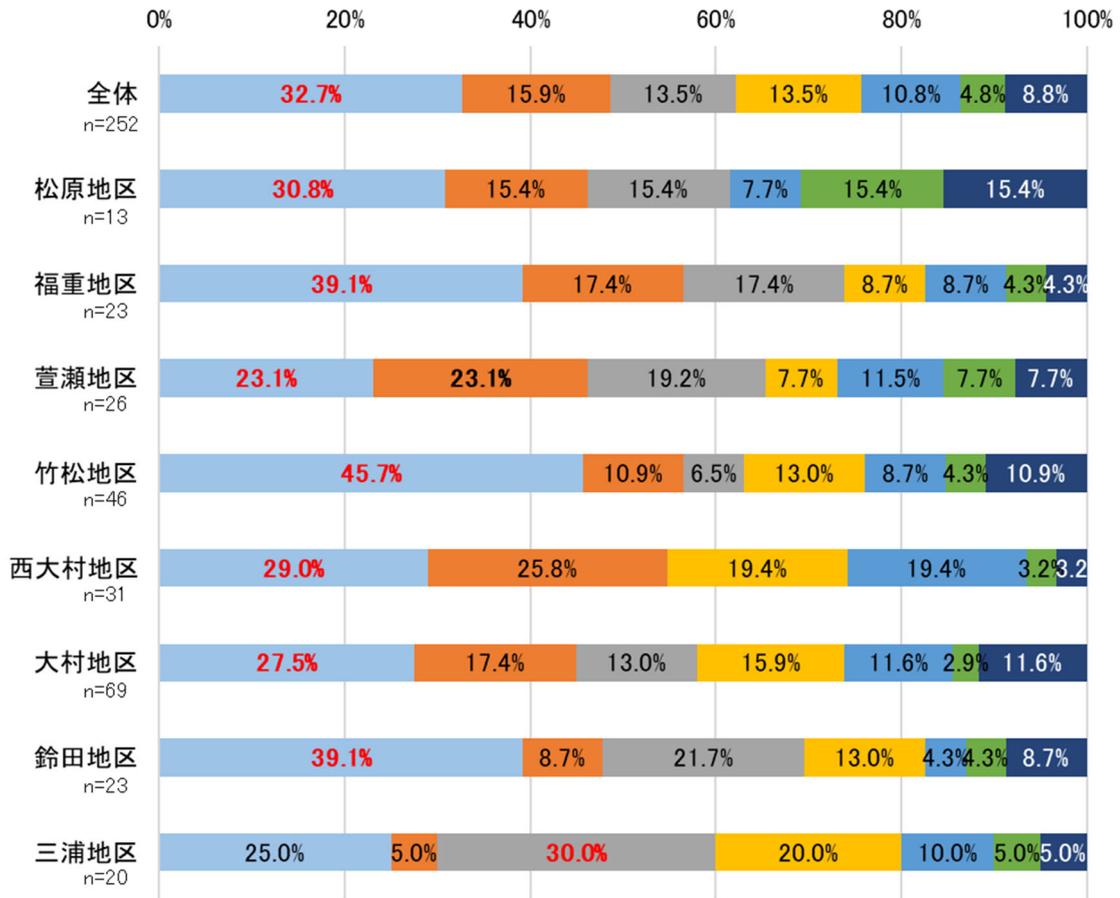


(6) 住まいを移す場合、不安に思うこと

仮に住まいを移す場合、どのような不安がありますか。(最もあてはまるもの1つに「○」)

- 市全体でみると、住まいを移す場合に不安に思うこととして、「移転先の住宅購入費(リフォームや増改築含む)の確保」が最も割合が多く、地区別についても、三浦地区を除く7地区で同様の傾向がみられる。また、三浦地区については、「現在、居住している住宅・土地の処分」が最も割合が多い。

図表 68 住まいを移す場合、不安に思うこと



- 移転先の住宅購入費(リフォームや増改築含む)の確保
- 移転先の賃貸住宅の家賃などの確保
- 現在、居住している住宅・土地の処分
- 移転にともなう費用(引っ越し費用など)
- 特に不安はない
- その他
- 不明

n=252

## 2.7 自由意見

大村市のまちづくりについて、ご意見やアイデアなどをお持ちでしたら、ぜひお聞かせください。

- ・ 今後のまちづくりについて、主な意見は以下のとおり。

区分	主な意見
大村市の将来像	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 日本一住みやすい大村、若い人も高齢者も住みやすいまち</li> <li>➤ <b>交通の利便性を生かした更なる発展・成長</b></li> <li>➤ 防災と農業を守ってみんなが安心して生活できるまち</li> </ul>
各施設の立地	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ <b>商業施設や娯楽施設（映画、テーマパーク、温泉）の誘致</b></li> <li>➤ スポーツ施設・文化施設（ホール、美術館）の整備</li> <li>➤ 子どもが遊べる施設（公園・遊具）の整備</li> <li>➤ 大学やIT企業等の誘致</li> </ul>
中心市街地等の活性化	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ <b>アーケードの活性化、空き店舗の活用</b></li> <li>➤ 高齢者が若者・子供と一緒に参加できるイベント、市民参加型のイベントなどの開催と積極的な広報</li> <li>➤ 若者の活動の場所づくり、人が集まる公園・場所づくり</li> <li>➤ <b>歴史的に重要な史跡を整備、観光地として市外へPR</b></li> <li>➤ 特色のある産直や、雑貨、カフェ等のマルシェ開催</li> </ul>
新幹線整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 在来線とのスムーズな連絡</li> <li>➤ 通過点になるのではなく観光客を市内に誘客</li> <li>➤ 新幹線駅周辺におけるカフェ等の店舗の誘致</li> </ul>
その他産業	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 高速交通を活かした産業の発展</li> </ul>
土地利用・市街地整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 空き家対策</li> <li>➤ 宅地への農地転用の抑制</li> <li>➤ 耕作放棄地の活用（貸農地など）</li> <li>➤ まとまった面積の農地を使って集団で農業を行う</li> </ul>
自然・環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 自然環境の保全、自然に配慮したまちづくり</li> <li>➤ 河川や海の環境を生かした堤防整備</li> </ul>
道路・交通環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 車・自転車の走行空間の分離、自転車のマナー啓発</li> <li>➤ サイクリングロードの整備</li> <li>➤ <b>慢性的な交通渋滞の解消（国道34号、市役所周辺）</b></li> <li>➤ 免許返納後の移動手段の確保</li> <li>➤ <b>まちなかに行くための公共交通の整備、バスの増便</b></li> <li>➤ 通学路の安全性向上、狹隘道路の拡幅</li> </ul>
公園	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 公園の維持管理（芝生化、草刈り等）</li> <li>➤ 遊具の充実、遊具のある大きな公園の整備</li> <li>➤ 郡川沿いの散歩コース、ランニングコースの整備</li> <li>➤ 災害時の避難場所となる防災公園の整備</li> </ul>
水資源・上下水道	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 海や河川の生き物生息地の保全、水質改善</li> <li>➤ 河川の土砂浚渫</li> </ul>
景観	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 歴史的建造物の保全</li> <li>➤ 空地・荒地の管理</li> <li>➤ 防風林の整備</li> <li>➤ 道端の雑草、街路樹の管理</li> </ul>
安全・安心環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 地域の防犯対策、市と警察との連携</li> <li>➤ 防犯カメラや街灯の整備</li> <li>➤ 避難所に関する周知</li> <li>➤ 水害や自然災害に対する対策、防災機能の強化</li> </ul>
医療・福祉環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ <b>福祉・医療サービスが充実しているまち、高齢者が住みやすいまち</b></li> <li>➤ 障害者福祉の充実や雇用創出</li> </ul>
人・市民活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 町内活動の在り方改革、活動の活発化</li> <li>➤ ボランティア活動の活発化・情報案内</li> </ul>

赤字：多く出された意見